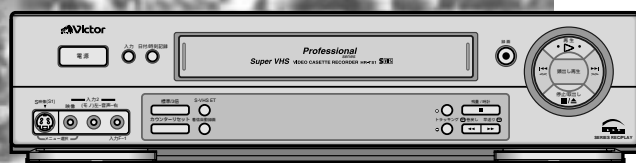


S-VHSビデオカセットレコーダー
型名 **HR-TS1**

S-VHS VIDEO CASSETTE RECORDER



HR-TS1

お買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は製造番号が記載されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているか、お確かめください。

Professional
series
S VHS

安全上のご注意

ご使用前にお読みください。



警告

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。

これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

注意(警告を含む)が必要なことを示す記号



一般的注意



手をはさまれる

してはいけない行為(禁止行為)を示す記号



禁止



水場での使用禁止



接触禁止



分解禁止

必ずしてほしい行為(強制、指示行為)を示す記号



一般的指示



プラグをコンセントから抜く

お断り

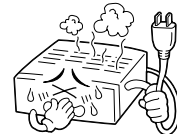
ビデオ本体やリモコンなどのイラストは、実際の商品と形状が異なる場合があります。

この「安全上のご注意」には、本製品に該当しない内容も記載されています。

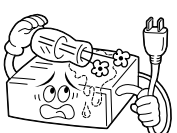
万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない

火災や感電の原因となります。

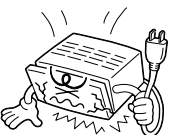
煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。



内部に水や物が入ってしまったとき。



落したり、キャビネットが破損したとき。



電源コードが傷んだとき(芯線の露出、断線など)。

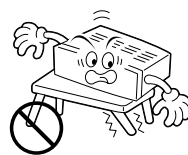


このようなときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、販売店に修理を依頼してください。

お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



表示された電源電圧(交流100V)以外で使用しない
火災や感電の原因となります。

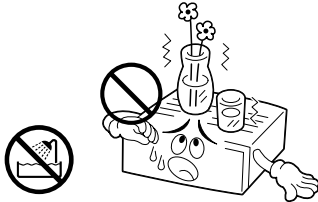


警告

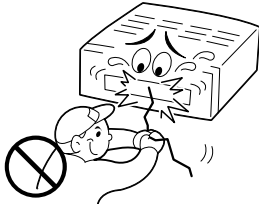
この機器の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない
頭からかぶると窒息の原因となります。



この機器の上に水の入ったもの(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)を置かない
機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。



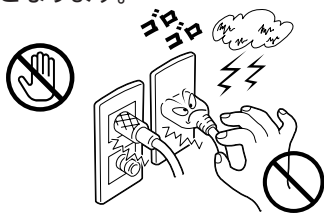
内部に物を入れない
通風孔やカセット出し入れ口などから、金属類や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。
特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



風呂場など水のある場所で使わない
機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグにはふれない
感電の原因となります。

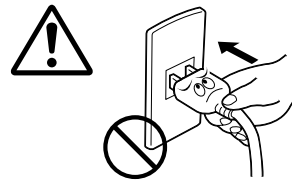


電源プラグは、すぐに抜ける場所にあるコンセントに差しこむ
本機に異常が発生したときに、電源プラグをコンセントからすぐ抜けるようにしてください。

この機器の(カバー、キャビネット)は外したり、改造しない
内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店に依頼してください。



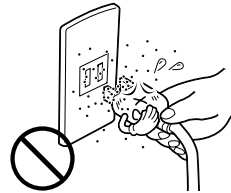
電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む
ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。また、たこ足配線はしないでください。



電源コードを傷つけない
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
・電源コードを加工しない。
・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
・電源コードの上に機器本体や重いものをのせない。
・電源コードを熱器具に近づけない。



電源プラグの電極、およびコンセントにほこりや金属を付着したまま使用しない
ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。半年に一度はプラグを抜いて乾いた布で拭いてください。



この機器の電源コンセント(ACアウトレット)に、(ヒーター、ドライヤーや電磁調理器)などの消費電力の大きい機器をつながない

[電源コンセント(ACアウトレット)付機種]

接続する機器の消費電力が、本体の電源コンセントに表示されている電力を超えないようにしてください。火災の原因となります。



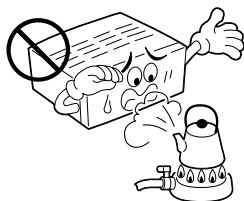
安全上のご注意(つづき)

⚠️ 注意

次のような所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。

- ・ 湿気やほこりの多い所
- ・ 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気の当たる所
- ・ 熱器具の近くなど
- ・ 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所



他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切り、それぞれの取扱説明書に従う

指定以外のコードを使用したり、延長したりすると発熱し、火災、やけどの原因となることがあります。



通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げないので、火災の原因となることがあります。

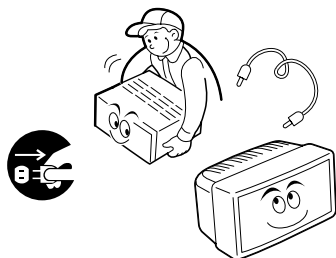
次のことに注意してください。

- ・ 押し入れ、本箱など狭いところに入れない。
- ・ じゅうたんや布団などの上に置かない。
- ・ テーブルクロスなどを掛けない。
- ・ 横倒し、逆さま(あおむけ)にしない。



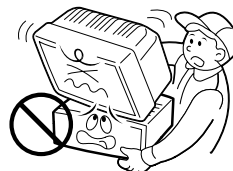
移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす
接続したまま移動すると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

カセットテープも取り出しておいてください。



この機器の上に他の機器を載せたまま移動しない

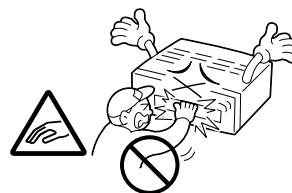
倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



カセットの出し入れ口に手を入れない

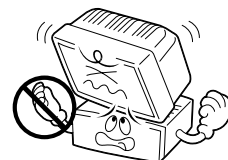
手をはさまれて、けがの原因となることがあります。

特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



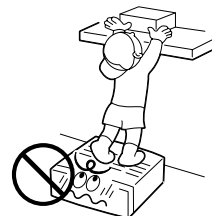
この機器の上に重い物を置かない

テレビなどの重いものや本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



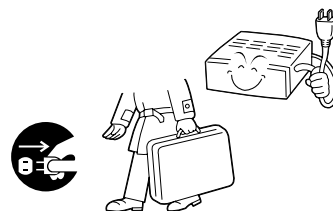
この機器の上に乗らない、ぶら下がる

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



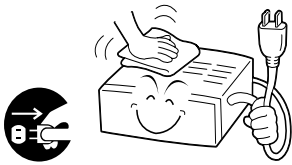
長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。



⚠️ 注意

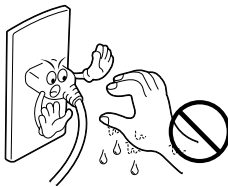
お手入れをするときは、電源プラグを抜く
電源が「切」でも機器に電気が流れています。感電の原因となることがあります。



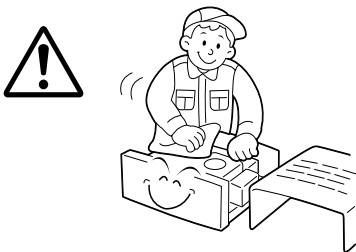
電源プラグはコードの部分を持って抜かない
電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。プラグの部分を持って抜いてください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。



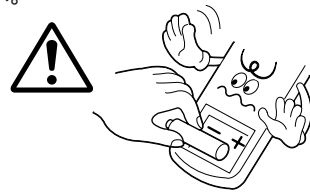
1年に一度は内部の点検を販売店に依頼する
内部にホコリがたまったらそのまま使用すると、火災の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。



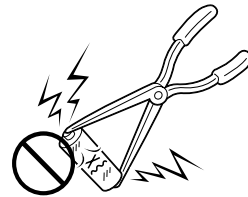
電池の安全上のご注意

取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災、けがや周囲を汚す原因となりますので、次のことをお守りください。

- ・ 電池はプラス(+)とマイナス(-)の表示通り入れる。
- ・ 指定以外の電池を使用しない。
- ・ 種類の異なる電池や新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使わない。



- ・ 電池(電池ケース)のプラス(+)、マイナス(-)をショートさせない
- ・ 加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない
- ・ 長期間使用しないときは、電池を取り出しておく



もし、液がもれた場合は、電池ケースについた液をよくふき取ってください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

使用上のご注意

ご使用前にお読みください。

大切な録画の前に

テレビ放送や録画物などから録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確かめてください。

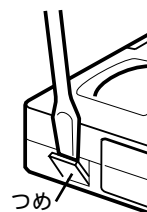
録画のしかたは、本体とリモコンで異なります。ご注意ください。

万一、本機およびビデオカセットテープ等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

大切な記録を消さないために

大切な録画済みテープは、誤消去を防ぐため、つめ(誤消去防止用)を折って取り除いてください。

本機ではメニューの設定を変更することで、つめ(誤消去防止用)の折れたカセットでも録画することができますのでご注意ください。(24ページ参照)

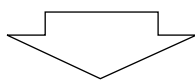


きれいな画面でご覧いただくために(クリーニングテープ)

長い間ご使用になるうちにザラザラした画面になることがあります。このようなときは、別売の「クリーニングカセット」でビデオヘッドを掃除してください。

こんな症状になったら

テープを再生すると、ザラザラした画面になる
映像が不鮮明、または映らない

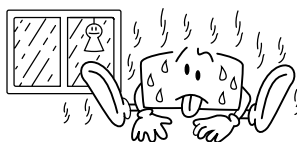


乾式のクリーニングカセットTCL-3Fを使って、ビデオヘッドをクリーニングしてください。



ヘッドの汚れの原因

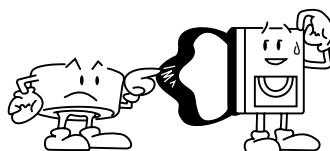
高温・多湿(梅雨時期など)



空気中のほこり



テープの傷、汚れ



長時間の使用など



クリーニングカセットを使っても正常な画面にならないときは、お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口(44～45ページ)にご相談ください。

つゆつきにご注意

つゆつきとは

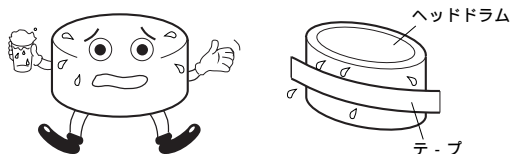
よく冷えたビールをコップにつぐと、コップのまわりに水滴が付きます。この状態を「つゆつき（または結露）」といいます。

つゆつきが発生すると

ビデオ内部のヘッドドラムに水滴が付き、それにテープが張り付いて、テープやビデオを傷めてしまいます。次のようなときにつゆつきになりやすいので、ご注意ください。

- ・ ビデオを、寒いところから暖かい部屋に移動したとき
- ・ 急に部屋を暖房したとき
- ・ エアコンなどの冷風が直接当たるところ
- ・ 湿気の多いところ

つゆつきになりそうなときは、あらかじめビデオの電源を入れておくと、内部の熱で発生しにくくなります。再生ができないなどの症状が出たら、つゆつきの可能性があります。ビデオの電源を入れて数時間待ってからご使用ください。



ビデオカセットテープは

ビデオカセットは **SVHS**、**VHS**タイプをお使いください。ただし、**SVHS**録画はできません。

録画済みテープに新しく録画するときは、前に録画されたものは消されます。

ビデオカセットテープは、裏返しでは使えません。ビデオカセットテープのふたを開けたり、分解したり、テープに直接触れることはしないでください。テープを走行させないで、何度も出し入れしないでください。テープに傷を付けることがあります。使用後は、テープを始めまで巻き戻しておいてください。

ビデオカセットテープの保管は

次のような所はさけて保管してください。

- ・ 湿気やほこりの多いところ、カビの発生しやすいところ
- ・ 直射日光が当たるところやストーブの近く
- ・ 磁気の発生するところ

落としたり衝撃を与えないでください。

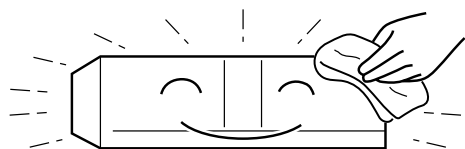
テープの巻き取りにむらがあるとテープを傷めます。きれいに巻き直してください。

ケースに入れて、立てて保管してください。

キャビネットのお手入れは

キャビネットや操作パネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、かわいた布で仕上げてください。ご使用の際は、その注意書にしたがってください。







シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。殺虫剤などの揮発性のものをかけないでください。



長時間ご使用にならないときは

長時間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、動作させてください。

主な特長

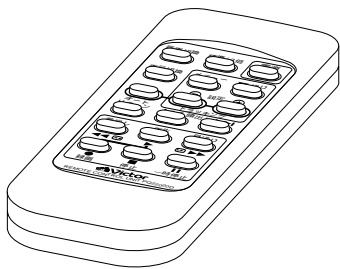
-  テープの終わりが映像の終わりで、何回でもくり返して再生できる
オートリピート機能 P.20
-  ハイファイ音声を録音するかを選べる
ハイファイ音声カット P.28
-  テープに録画日時を記録できる
日付/時刻の記録機能 P.26
-  複数台のHR-TS1を接続して、連続再生、連続録画ができる
シリーズプレイ P.36,38
-  接続した外部機器と連動して、簡単にタイマー録画ができる
着信自動録画 P.31
-  ダビング中などに、操作ボタンを無効にできる
モードロックスイッチ P.36,38

もくじ

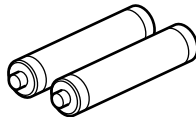
最初にお読みください	安全上のご注意	2	はじめに
	使用上のご注意	6	
準備	付属品を確かめる	10	準備
	各部の名称	11	
	日付と時刻を設定する	15	
本機の基本操作について 再生と録画するときの接続と操作のしかたを説明します	ビデオを再生する	16	本機の基本操作
	再生のための接続と操作	16	
	再生中の操作	17	
	その他の操作	19	
	電源を切るには	19	
	再生中の映像を調節するには	19	
	再生するときの便利な機能	20	
	再生するときの設定を変える	21	
	録画する	24	
	基本的な録画の操作	24	
	録画中の操作	25	
	その他の操作	25	
	電源を切るには	25	
	録画するときの設定を変える	26	
	録画と再生で便利な機能	29	
	ダビング/シリーズプレイ ダビングするときの接続と操作のしかた、複数台のHR-TS1を接続しての連続再生・録画について説明します。	テープをダビングする	
他機で再生、本機で録画する		33	
本機で再生、他機で録画する		34	
BSやCS機器を接続して録画する		35	
複数台のHR-TS1を本機で操作する		36	
複数台のHR-TS1で連続再生する		36	
複数台のHR-TS1で連続録画する		38	
困ったときは... ここをお読みください。	故障かな? と思ったら	40	その他
	索引	41	
	主な仕様	42	
	保証とアフターサービス	43	

付属品を確かめる

箱を開け、次の付属品が揃っているか確かめてください。



リモコン



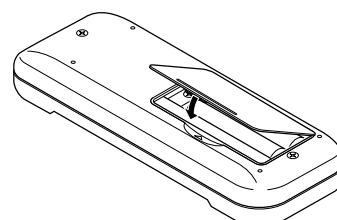
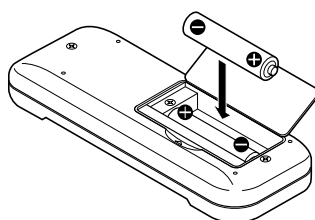
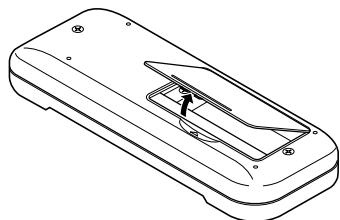
単4乾電池(2本)
(リモコン動作確認用)



リチウム電池
(CR2025)

リモコンに電池を入れてください。

1. リモコンの裏ぶたのツメを押しながら矢印の方向に開ける。
2. 単4乾電池を極性を間違わないように2本入れる。
3. 裏ぶたを「カチッ」と音がするまで、押し閉める。



乾電池交換の目安は

リモコンの操作できる距離が短くなってきたら、電池が消耗しています。このようなときは、新しい乾電池に交換してください。

お願い

乾電池についてのご注意

付属の乾電池は動作確認用です。

長時間ご使用にならないときは、リモコンから乾電池を取り出しておいてください。

リモコン使用中に不具合が生じたときは、一度乾電池を抜き、しばらくしてから再度乾電池を入れ、操作してください。

乾電池を交換するときは

単4乾電池(R03/LR03)をご使用ください。

2本とも新しいものと交換してください(使用済みのものを混ぜないでください)。

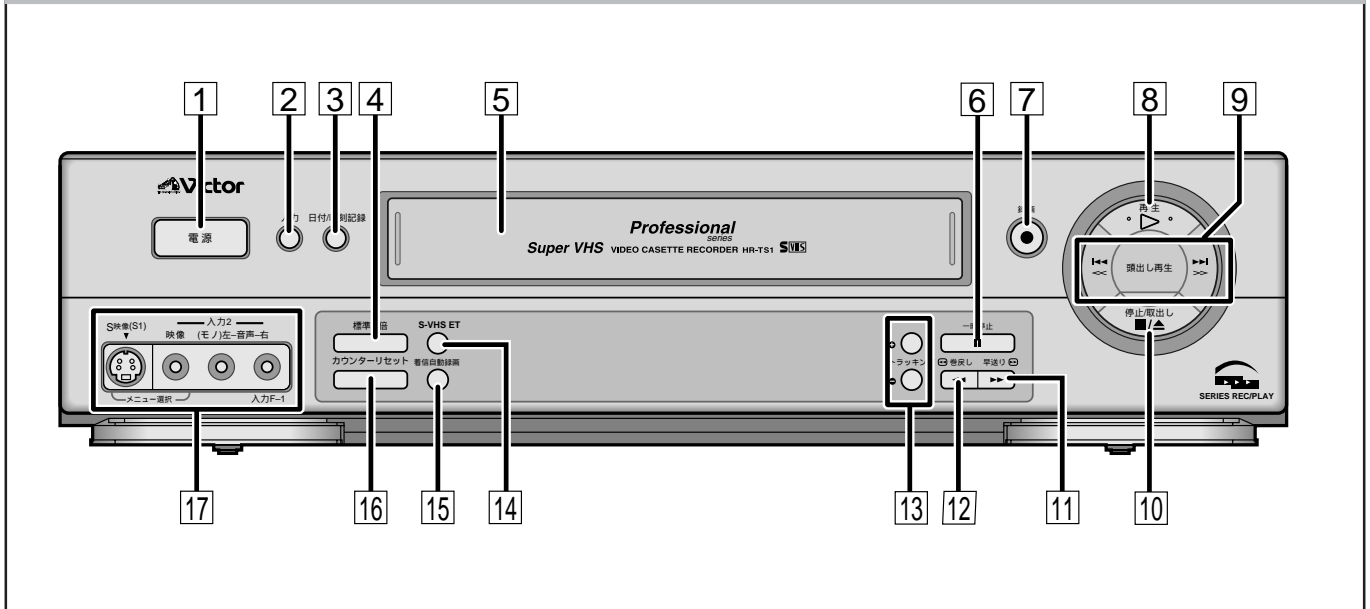
乾電池の⊕と⊖の向きを表示通り正しく入れてください。

乾電池に表示されている注意事項も合わせてお読みください。

各部の名称

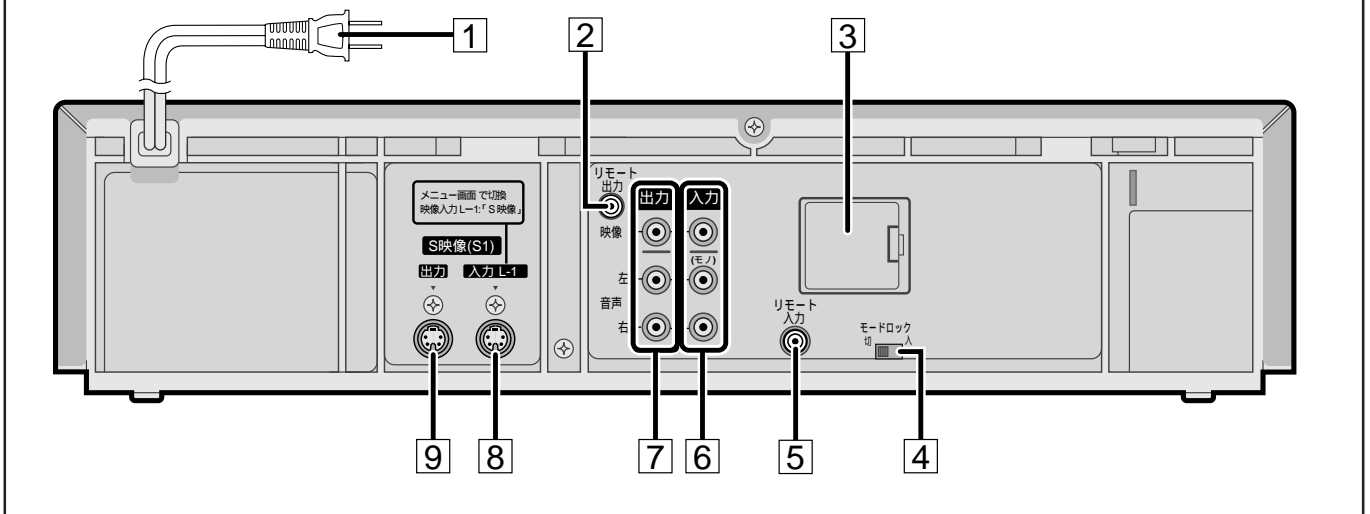
(☞P.)中の数字は参照ページです。より詳しい説明が記載されています。

本体前面

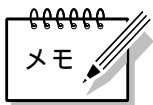


- 1 電源ボタン
電源を入/切りします。
- 2 入力ボタン
前面と背面の映像/音声入力端子を切り換えます。(☞P.24)
- 3 日付/日時記録ボタン
録画するときに日時と時間を録画したいときに使います。
- 4 標準(SP)/3倍(EP)ボタン
録画スピードを選びます。(☞P.24、33、39)
- 5 カセット挿入口
カセットを入れます。
- 6 一時停止(II)ボタン
再生中や録画(ダビング)中に押すと、一時停止します。
(☞P.17、25)
再生中に、2秒以上押し続けると、スロー再生を始めます。
(☞P.17)
一時停止中に、くり返し押すと、コマ送り再生ができます。
(☞P.17)
- 7 録画(●)ボタン
録画(ダビング)を始めます。
- 8 再生(▶)ボタン
テープの再生を始めます。(☞P.16)
- 9 頭出し再生(◀◀/▶▶)ボタン
停止中に、見たい番組(録画)の始まりを探すことができます。
(☞P.17)
可変速再生(<</>>)ボタン
再生中に、再生スピードを変えることができます。(☞P.17)
- 10 停止/取出し(■/▲)ボタン
再生や録画(ダビング)を止めるときに押します。
停止中に、押すとテープを取り出すことができます。
- 11 早送り(▶▶)ボタン
再生中は、映像を見ながら早送りができます。
停止中は、テープを早送りします。(☞P.17、25)
- 12 巻戻し(◀◀)ボタン
再生中は、映像を見ながら巻き戻しができます。
停止中は、テープを巻き戻します。(☞P.17、25)
- 13 トラッキングボタン
オートトラッキング機能の「入/切」が切り換わります
「⊕」、「⊖」ボタンを同時に押すと、手動でトラッキングを調節
できます。調節するには、「⊕」、「⊖」ボタンを使います。
(☞P.19)
- 14 S-VHS ETボタン
VHSテープにS-VHSの画像で録画するときに使います。
(☞P.32)
- 15 着信自動録画ボタンとランプ
お持ちのデジタルCSチューナーなどにタイマー機能が付い
ているときにご利用になれます。(☞P.31)
- 16 カウンターリセットボタン
カウンター表示を「0:00:00」に戻します。(☞P.19)
- 17 映像/音声入力2(L2)端子
お手持ちのビデオデッキやビデオカメラなどの映像機器を
接続します。

本体背面



- 1 電源プラグ
壁のコンセントに差し込みます。
- 2 リモート出力端子
2台以上のHR-TS1を接続するときに使います。
この端子と2台目のHR-TS1のリモートイン端子を接続して連続再生や連続録画ができるようになります。(☞P.36、38)
- 3 リチウム電池交換パネル
リチウム電池を取り付け、交換するときは、このパネルを開けて行ってください。
本機は内蔵時計などのバックアップに、リチウム電池を使います。本機をご使用になるときは、必ずリチウム電池を取り付けてください。
- 4 モードロックスイッチ
このスイッチを「入」にすると、録画、再生、くり返し再生(オートリピート再生)などの動作を停止できなくなります。(☞P.16、25、36、38)
- 5 リモート入力端子
他のHR-TS1と接続するときに使います。(☞P.36、38)
- 6 映像/音声入力端子(入力1)
お手持ちのビデオデッキやビデオカメラなどの映像機器と接続します。(☞P.33、35、36、38)
- 7 映像/音声出力端子
お手持ちのテレビ(または他の映像機器)の映像/音声入力端子と接続してください。(☞P.34、35、36)
- 8 S映像(S1)入力(L1)端子
映像/音声入力(L1)端子のS映像端子です。
お手持ちの映像機器のS映像出力端子とつないでください。(☞P.33、35、36、38)
本機のS映像入力端子は、S1映像信号*に対応しています。
- 9 S映像(S1)出力端子
映像/音声出力端子のS映像端子です。
お手持ちのテレビ(または他の映像機器)のS映像入力端子とつないでください。(☞P.34、35、36)
本機のS映像出力端子は、S1映像信号*に対応しています。



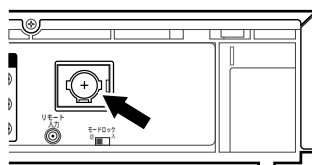
本機は、停電などがあったときは、電源スイッチの「入」切、本機の動作状態を記憶しています。

リチウム電池の取り付け・交換のしかた

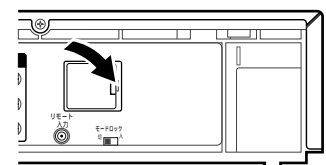
リチウム電池を取り付け・交換するときは、必ず電源コードを壁のコンセントへ差し込んでから行ってください。



1. リチウム電池交換パネルを開ける



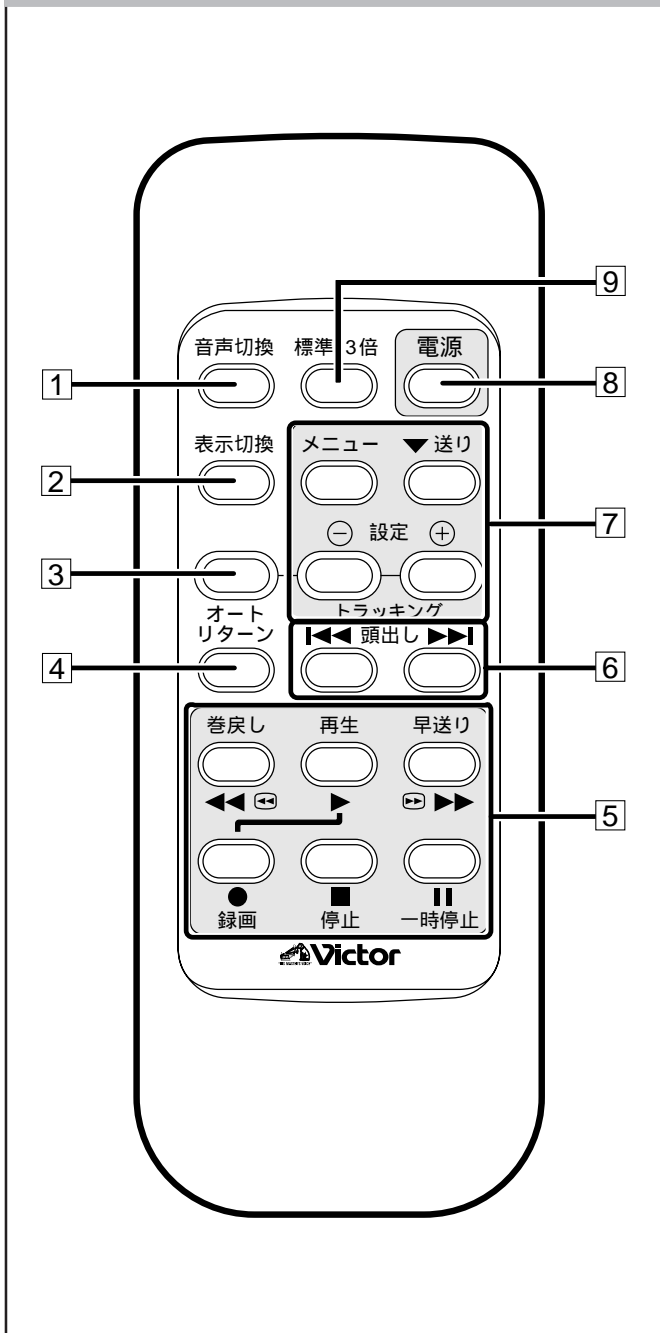
2. リチウム電池を取り付け、または交換する(+を手前にして)



3. リチウム電池交換パネルを閉める

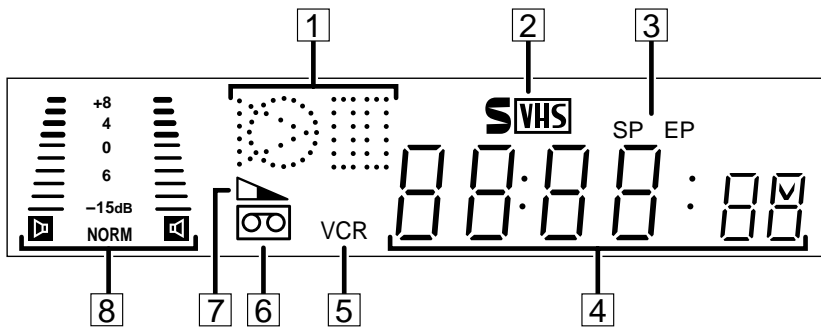
各部の名称 (つづき)

リモコン



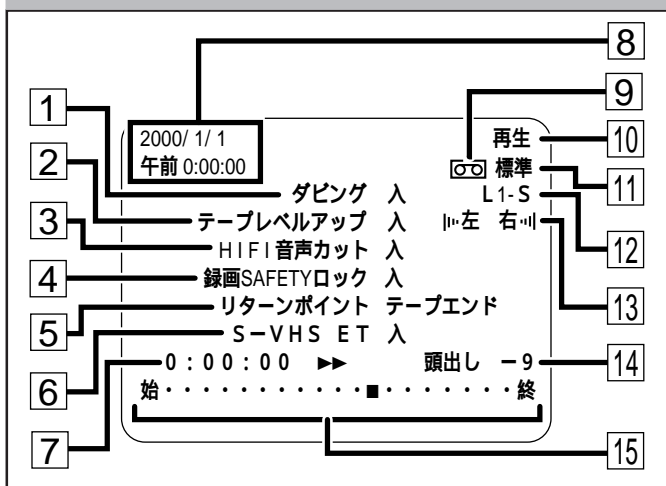
- 1 音声切換ボタン
聞きたい音声を選びます。(☞P.18)
- 2 表示切り換えボタン
表示窓やテレビ画面の表示を切り換えます。(☞P.18)
- 3 オートボタン
押すたびにオートトラッキングを「入/切」します。(☞P.19)
- 4 リターンボタン
押すと、画面に「T A P E E N D (テープの終わり)」と「P I C T U R E E N D (映像の終わり)」が交互に表示されます。「T A P E E N D (テープの終わり)」再生中にテープが終わると自動的に巻戻されます。「P I C T U R E E N D (映像の終わり)」再生中に映像が20秒間以上とぎれると自動的に巻き戻されます。
- 5 テープ操作ボタン
巻戻し(◀◀)、再生(▶▶)、早送り(▶▶▶)、録画(●)、停止(■)、一時停止(⏸)
- 6 頭出し◀◀/▶▶▶ボタン
再生中に押すと、最大±9番組までの番組頭出しができます。
- 7 メニュー操作ボタン(☞P.21、22、26、27)
メニュー、▼送り、設定⊕⊖ボタン
メニューボタン：メニュー表示を「入/切」します。
▼送り：メニュー表示中、項目の設定値を変更するのに使います。
設定⊕⊖：メニュー項目を移動するときに使います。
オートボタンを押して、オートトラッキングを切ったときには手動トラッキング調節ボタンとして使います。
- 8 電源ボタン
本機の電源を「入/切」します。
電源を切るときに7秒以上押し続けると、電源が切れたのち本体でのボタン操作を受けつけなくなります(チャイルドロック)。
もう一度7秒以上押し続けると、チャイルドロックが解除されて電源が入ります。
- 9 標準/3倍ボタン
録画するスピードを押すたびに、標準(SP)と3倍(EP)を切り換えます。録画中は切り換えられません。

本体表示窓



- 1 テープ走行表示
▷: 再生中に点灯します。
○: 録画中に点灯します。
⏸: 一時停止中に点灯します。
- 2 S-VHS表示
S-VHSモードで記録ができるときに点灯します。
- 3 録画スピード (SP/EP) 表示
SP: 録画スピードが「標準 (SP)」のとき点灯します。
EP: 録画スピードが「3倍 (EP)」のとき点灯します。
- 4 カウンター/入力端子表示
テープの走行時間、残量、時計や入力端子などが表示されます。
- 5 VCR表示
録画中に、別の番組をテレビで見たいときはこの表示を消してください。
- 6 カセット () 表示
本機の中にカセットが入っているときに点灯します。
- 7 テープ残量 () 表示
カウンターにテープ残量が表示されているときに点灯します。
- 8 音量レベルインジケータ
入力される音量レベルを表示します。
◀ ▶: ステレオ音声再生中に点灯します。(P.18)
NORM: ノーマル音声を再生中に点灯します。
(P.18)

テレビ画面表示



- 1 ダビング(P.29)
- 2 テープレベルアップ (P.30)
- 3 HIFI 音声カット (P.28)
- 4 録画SAFETYロック (P.28)
- 5 リターンポイント (P.23)
- 6 S-VHS ET(P.27)
- 7 カウンター/残量
- 8 日付/時間
- 9 カセットの有無
- 10 テープの走行状態
- 11 再生スピード
- 12 入力
- 13 音声出力
- 14 頭出し (V I S S) 番号 (P.20)
- 15 テープ走行位置



「オンスクリーン表示設定」メニューの「再生時」「録画時」が「入」になっているときに、表示される内容です。(P.21、26ページ参照)
左の表示が同時にすべて表示されることはありません。

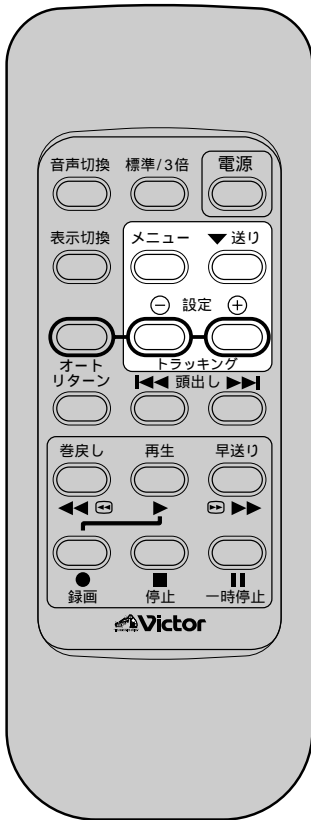
日付と時刻を設定する

お買い上げ時には時計は設定されていません。始めに正しい日付と時刻を設定してください。

その前に...

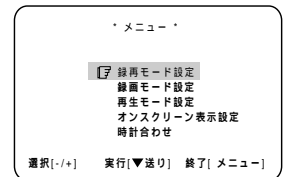
本機の接続が終わってから(接続については16ページをご覧ください)テレビの電源を入れて、外部入力を選びます。(本機からの映像をテレビ画面に映します。)

例: 2000年1月1日、午前0時0分に合わせる

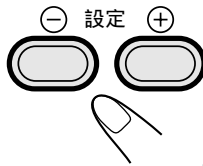


準備

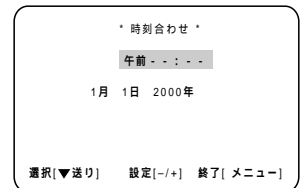
1 メニュー画面を表示させる



2 「時計合わせ」メニューを表示させる

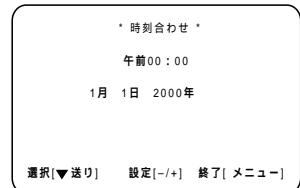


を「時計合わせ」
に合わせてから、



3 日付と時刻を合わせる

- 1 設定⊕ボタンまたは設定⊖ボタンを押し、時刻を合わせてから、▼送りボタンを押す。設定⊕ボタンまたは設定⊖ボタンを押し続けると、30分単位で早く変わります。
- 2 設定⊕ボタンまたは設定⊖ボタンを押し、日付を合わせてから、▼送りボタンを押す。設定⊕ボタンまたは設定⊖ボタンを押し続けると、15日単位で早く変わります。
- 3 設定⊕ボタンまたは設定⊖ボタンを押し、西暦の年数をあわせる。



4 時計合わせを終了する



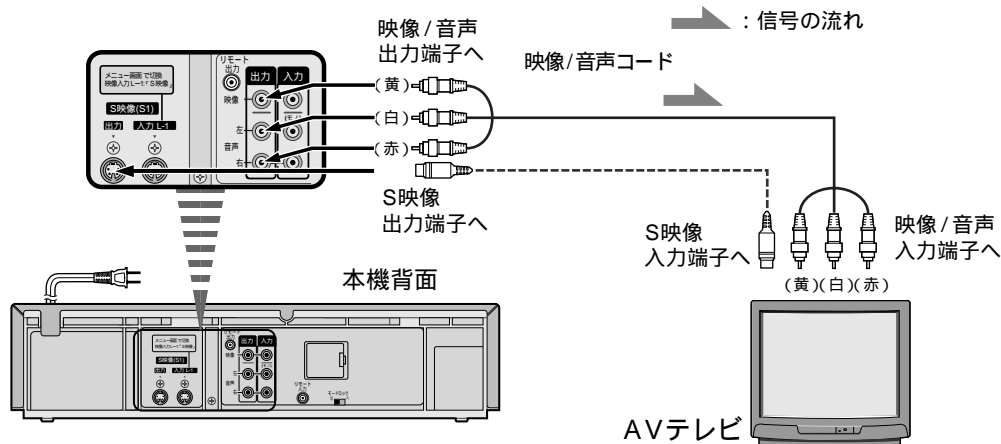
時計が動き始めます。

正確に合わせたいときは時報に合わせて、メニューボタンを押してください。

ビデオを再生する

再生のための接続と操作

図のように、テレビを接続してください。



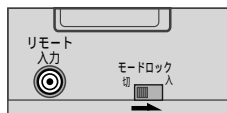
再生中に他の操作をされたくないときは

再生を始める前や再生中に、背面のモードロックスイッチを「入」にします。

再生が終わるまで、他の操作を受けつけなくなります。

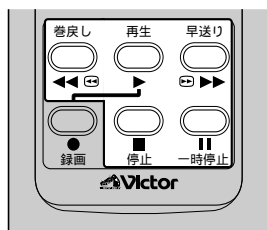
再生の途中で止めたいときは、モードロックスイッチを「切」にしてから、停止(■)ボタンを押してください。

モードロックスイッチで、操作ボタンを制限できるのは再生中です。停止時にはすべての操作ボタンを受けつけます。



その前に...

テレビの電源を入れて、外部入力を選びます。(本機からの映像をテレビ画面に映します。)



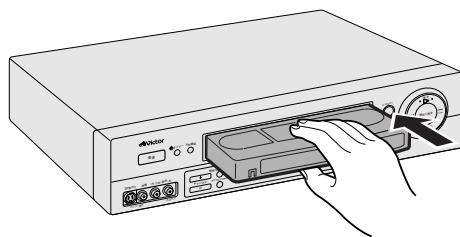
「録再モード設定」メニューの「テープレベルアップ」が「入」になっているときは、再生するテープの品質レベルを測定し、最適な画質で再生します。詳しくは、「最適な画質で録画・再生する(52ページ)をご覧ください。

1

テープを入れる

自動的に電源が入ります。

表示窓のカウンターが「0:00:00」にリセットされます。



テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

つめのないカセットを入れると、自動的に再生が始まります。

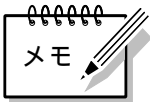
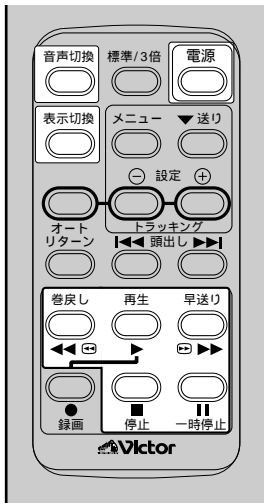
「録画モード設定」メニューの「録画 SAFETY ロック」が「入」に設定されているときは(27ページ参照)自動的に再生は始まりません。

2

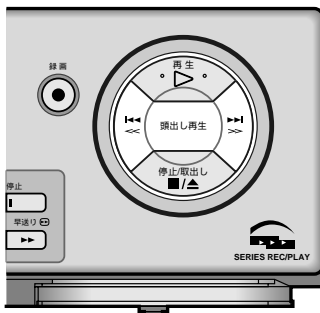
再生する



再生が始まります。



一時停止(静止画再生)が5分以上続くと、本機は自動的に停止します。
 静止画再生、コマ送り、スロー再生や可変速再生中は、音声は聞こえません。
 静止画再生中やスロー再生中に映像に横すじやちらつきが出るときは、トラッキング調節を行ってください。
 (19ページ参照)



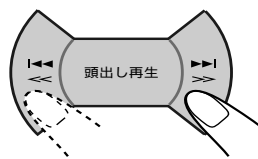
再生中の操作

操作	ボタン	メモ
再生を止めるには		本体で操作するときは、停止/取り出し(■/▲)ボタンを押します。
一時停止するには		1度押すと、再生が一時停止され、静止画がテレビ画面に映ります。通常の再生に戻すには、再生(▶)ボタンを押します。
スロー再生するには		2秒以上押し続けると、スローで再生されます。通常の再生に戻すには、再生▶ボタンを押します。
コマ送りするには		くり返し押すと、押すたびに映像が1コマずつコマ送りで再生されます。通常の再生に戻すには、再生▶ボタンを押します。
映像を見ながら巻戻し/早送りを するには	 	ボタンを2秒以上押し続けると、押している間、早送り/巻戻しされます。指を離すと通常の再生に戻ります。

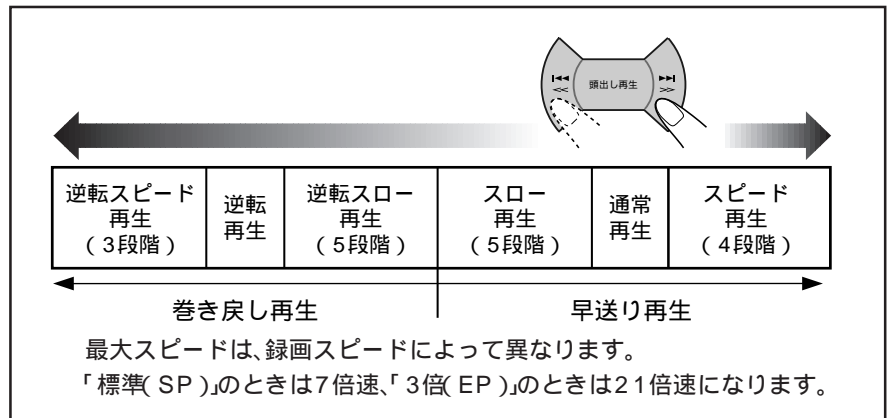
スピードを変えて再生

本体でも、スピードを変えて再生することができます。

再生中に

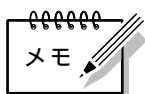
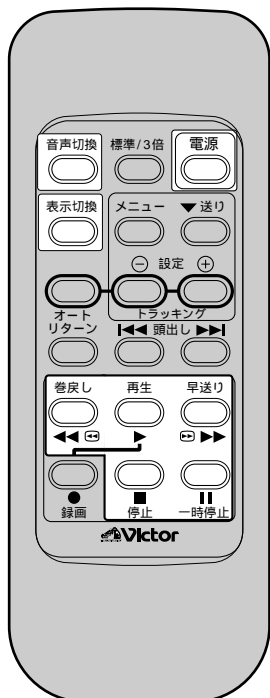


押すたびに、再生スピードが変わります。(可変速再生)
 静止画再生中に押すと、コマ送り再生になります。



通常の再生に戻すには、再生(▶)ボタンを押します。

再生中の操作(つづき)



残量表示は、目安の時間であり、現在選ばれている録画スピードで計算されます。

使用されているテープによっては、テープの残量が正しく表示されないことがあります。

カウンターや残量表示などをテレビ画面に出したくないときは、

「オンスクリーン表示設定」メニューの「再生時」を「切」にしてください。





(21ページ参照)

ハイファイ音声(ステレオ)が録音されていないテープを再生中は、他の音声を選ぶことはできません。

操作	ボタン	メモ																											
テープの残量時間を調べるには	表示切換 	本体の表示窓やテレビ画面に表示されているカウンターの表示を切り換えることができます。ボタンを押すたびに、表示窓の表示が次のように切り換わります。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>カウンター表示</td> <td>テープの残量表示</td> </tr> <tr> <td>時計表示</td> <td>カウンター表示 ...</td> </tr> </table>	カウンター表示	テープの残量表示	時計表示	カウンター表示 ...																							
カウンター表示	テープの残量表示																												
時計表示	カウンター表示 ...																												
音声を切り換えるには	音声切換 	再生中に音声を切り換えることができます。ボタンを押すたびに次のように切り換わります。 画面表示 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td> 左</td> <td>右 </td> <td>→</td> <td> 左</td> <td>→</td> <td>右 </td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>ノーマル</td> <td>→</td> <td>ミックス</td> <td>→</td> <td>...</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 本体表示 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>→</td> <td></td> <td>→</td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>NORM</td> <td>→</td> <td></td> <td>→</td> <td>NORM</td> <td>→</td> <td>...</td> </tr> </table> 左 右 () : ハイファイ音声(ステレオ)が聞けます。 音声多重放送を録画したテープを再生中は、主音声と副音声(右)が聞けます 左 () : ハイファイ音声の左チャンネル(左)が聞けます 音声多重放送を録画したテープを再生中は、主音声(左)が聞けます 右 () : ハイファイ音声の右チャンネル(右)が聞けます 音声多重放送を録画したテープを再生中は、副音声(右)が聞けます ノーマル (NORM) : ノーマル(モノラル)音声(左)が聞けます 音声多重放送を録画したテープを再生中は、主音声(左)が聞けます ミックス (NORM) : ハイファイ音声とノーマル音声の両方を聞くことができます	左	右	→	左	→	右	→	ノーマル	→	ミックス	→	...				→		→		→	NORM	→		→	NORM	→	...
左	右	→	左	→	右	→																							
ノーマル	→	ミックス	→	...																									
	→		→		→																								
NORM	→		→	NORM	→	...																							

ビデオを再生する(つづき)

その他の操作

操作	ボタン	メモ
巻戻し/早送りを する(停止時)	巻戻し  早送り 	巻戻し/早送りをやめるには、停止(■)ボタンを押します。 本体で操作するときは、停止/取り出し(■/▲)ボタンを押します。
テープを取り出す (停止時)		本体のボタンでのみできます。
カウンターをリ セットするには (再生中/停止時)	カウンター リセット 	本体の表示窓やテレビ画面のカウンターが「0:00」に戻ります。

電源を切るには



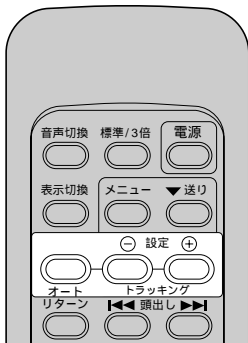
電源が切れます。

リモコンで電源を切るときに7秒以上押し続けると、電源が切れたのち本体でのボタン操作を受けつけなくなります(チャイルドロック)。もう一度7秒以上押し続けると、チャイルドロックが解除されて電源が入ります。

再生中の映像を調節するには

本機には、オートトラッキング機能が付いています。

テープの再生を始めると、自動的にオートトラッキングが働き、映像の乱れやちらつきを調節します。オートトラッキングでは、映像の乱れやちらつきが調節できないときは、次の操作をしてください。



お願い

録画状態の極端に悪いテープや他のビデオデッキで録画したテープでは、十分にトラッキングを調節できないことがあります。

静止画再生やスロー再生中の映像の乱れやちらつきは、調節しても消えないことがあります。故障ではありません。

お使いのテレビによっては、静止画再生中の映像の揺れをとめられないことがあります。

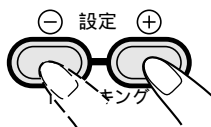
1 オートトラッキングを解除する



オートボタンを押すたびに、オートトラッキングの「入/切」が切り換わります。

本体のボタンでも、トラッキングボタンを同時に押すたびに、オートトラッキングの「入/切」が切り換わります。

2 トラッキングを調節する



本体で調節するには、トラッキング+/-ボタンを押します。

静止画再生中やスロー再生中に、映像に横すじやちらつきが出るときは

- 1 静止画再生中は、一時停止(II)ボタンを2秒以上押し、スロー再生にする。
- 2 設定+/-ボタンを押し、調節する。

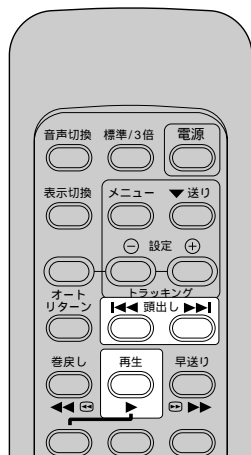
静止画再生中、映像が上下に揺れるときは

揺れがとまるまで、設定+/-ボタンを押します。

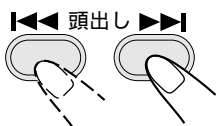
再生するとき便利な機能

番組の頭出しをするには

テープの何番目に見たい番組が録画されているかわかっているときに便利です。インデックスマーク(VISS)は前後9番目まで指定できます。



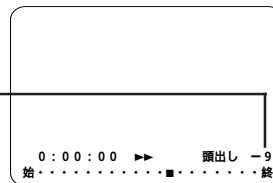
停止中に



押すたびに、頭出しの番号がひとつづつ増えて(減って)いきます。

本体で操作するときは、頭出し再生ボタンを使います。

指定した頭出し番号*が表示されます。
例:今見ている番組(録画)のひとつ前の番組を見たいとき



本機では、録画を始めると自動的に録画の始まりの部分にインデックスマーク(VISS)と呼ばれる信号が記録されます。

この信号を使って、録画の頭出しを簡単にすることができます。

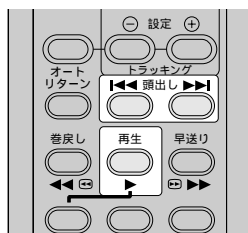
* 番号の指定のしかた



- [例] 次の番組を頭出しするとき：
頭出し▶▶▶ボタンを1回押す。
今見ているの番組を頭出しするとき：
頭出し◀◀◀ボタンを1回押します。
ひとつ前の番組を頭出しするとき：
頭出し◀◀◀ボタンを2回押します。

くり返し再生(オートリピート再生)をするには

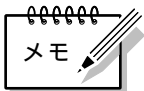
メニューで設定された巻戻し点から、テープの始めまでを、くり返し再生することができます。(23ページ参照)



再生中または停止中に



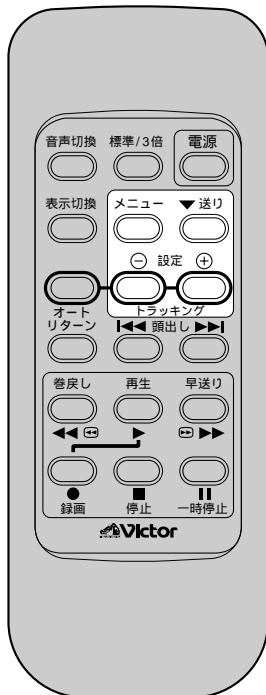
5秒以上押す。
通常の再生に戻すには、もう一度押します。



オートリピート再生中やオートリピート再生を始める前に、背面のモードロックスイッチを「入」にすると、すべてのボタン操作ができなくなります。

再生の途中で止めたいときは、モードロックスイッチを「切」にしてから、停止■ボタンを押してください。

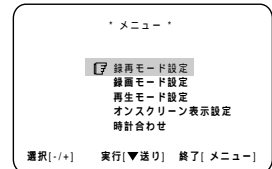
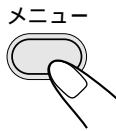
ビデオを再生する(つづき)



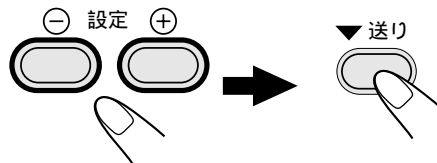
再生するときの設定を変える

本機の画面表示を消すには

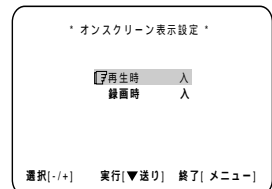
1 メニューを表示させる



2 「オンスクリーン表示設定」メニューを表示させる

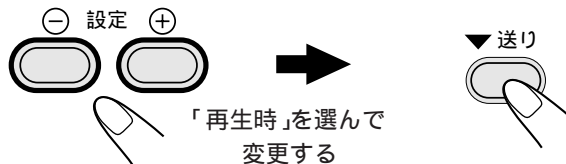


を「オンスクリーン表示設定」
に合わせてから、



3 項目を選んで、変更する

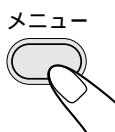
再生するときオンスクリーンを消すには



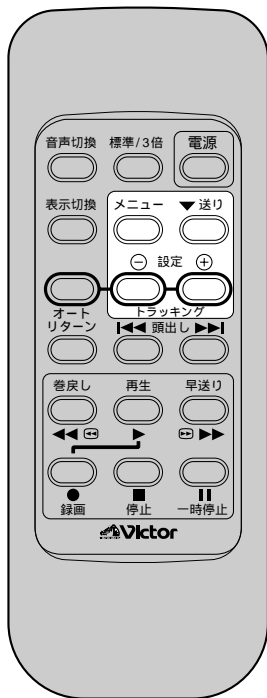
「再生時」を選んで
変更する

項目	設定について
再生時	入 : 操作モードなどを画面に表示する (14ページ参照) 切 : 操作モードなどを画面に表示しない お買い上げ時の設定 再生時 : 入

4 設定が終わったら

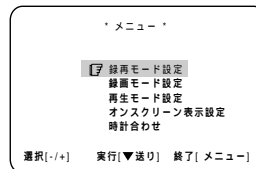
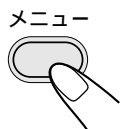


メインメニューが終了します。

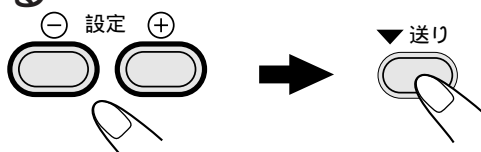


本機のテープ巻戻し点を変更したり、映像信号が無いときの画面をブルー表示を変更するには

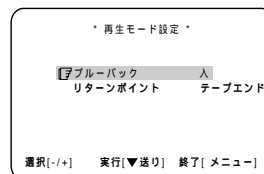
1 メニューを表示させる



2 「再生モード設定」メニューを表示させる



を「再生モード設定」に合わせてから、



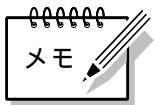
3 項目を選んで、変更する

ブルーバックを消すには



「ブルーバック」を選んで変更する

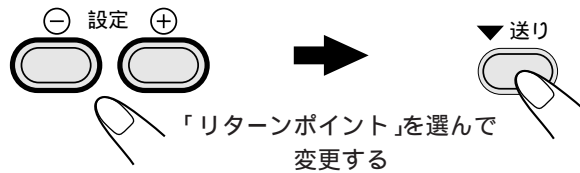
項目	設定について
ブルーバック	入 :映像信号がないときにテレビ画面をブルーにする 切 :映像信号がないときにテレビ画面をブルーにしない お買い上げ時の設定 ブルーバック :入



リモコンのリターンボタンを押しても、「テープエンド」と「画像エンド」を切り換えることができます。

リモコンで「リターンポイント」の設定を変更すると、「オンスクリーン表示設定」メニューの「再生時」が「入」のときだけ変更内容がテレビ画面に約5秒間表示されます。

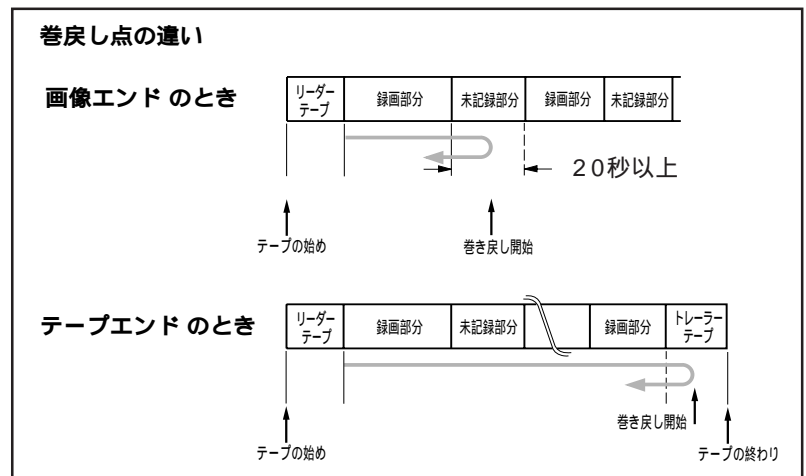
巻戻しを始める点(リターンポイント)を変えるには



項目	設定について
リターンポイント	テープエンド : テープの終わりで自動的に巻戻す 画像エンド : 映像の終わり(20秒以上の未記録部分)で自動的に巻戻す お買い上げ時の設定 リターンポイント : テープエンド

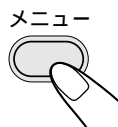
巻戻し点の違いについて

テープエンドと画像エンドのどちらかを設定できますが、画像エンドのときは20秒以上の未記録部分があると、そこから巻戻しになります。テープエンドのときには、未記録部分があってもテープの終わりまで再生してから巻戻しに入ります。



4

設定が終わったら

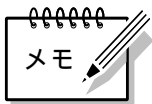
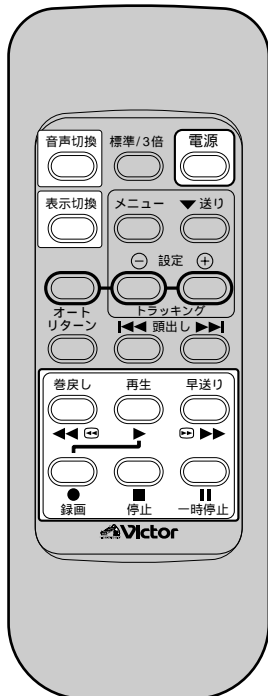


メインメニューが終了します。

録画する

基本的な録画の操作

接続については、33、35ページをご覧ください。



本機では、録画を始めると自動的に録画の始まりの部分にインデックスマーク(VISS)と呼ばれる信号が記録されます。

この信号を使って、録画の頭出しを簡単にすることができます。

一時停止が5分以上続くと、本機は自動的に停止します。

録画中にテープの終わりまできると、自動的にテープは巻き戻されます。

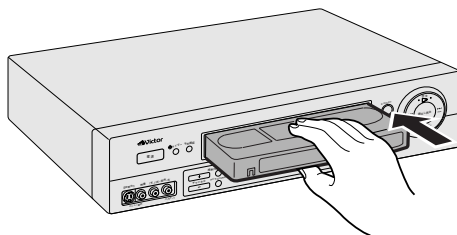
録画と録画のつなぎ部分で映像が乱れることがありますが、故障ではありません。

通常つめのないカセットは録画することはできませんが、本機では、「録画モード設定」メニューの「録画 SAFETY ロック」を「入」にすると、つめのないカセットでも録画できるようになります。(27ページ参照)

1 テープを入れる

自動的に電源が入ります。

表示窓のカウンターが「0:00:00」にリセットされます。



テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

つめのないカセットを入れると、自動的に再生が始まりますので、停止ボタン(■)を押して再生を止めて取り出してください。

2 入力を切り換える



本体のボタン

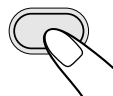
押すたびに、入力が「L1-S」、「L1」、「L2-S」、「L2」の順に切り換わります。

背面に接続した機器から録画するときには、「L1」を、前面に接続した機器から録画するときには「L2」を選ぶ。

S映像入力端子は、背面の端子を「L1-S」、前面の端子を「L2-S」として表示されます。

3 録画スピードを選ぶ

標準/3倍



押すたびに、録画スピードが「標準(SP)」と「3倍(EP)」に切り換わります。

「標準」: 画質を重視するとき表示窓に「SP」表示が点灯します。

「3倍」: 3倍長く録画するとき表示窓の「EP」表示が点灯します。

4 録画を始める



録画

を押しながら、



再生

本体の録画(●)ボタンでも操作できます。

このときは、再生(▶)ボタンを押す必要はありません。




録画中に停電などがあったとき

録画中に停電などがあったときは、停電が復旧し電気が入ると自動的に録画状態になります。


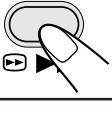

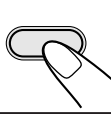
(RECレジューム機能)

録画する(つづき)

録画中の操作

操作	ボタン	メモ						
録画を止めるには		本体で操作するときは、停止/取り出し(■/▲)ボタンを押します。						
一時停止するには		1度だけ押すと、録画が一時停止します。再び録画を始めるには、再生(▶)ボタンを押します。						
テープの残量時間を調べるには	表示切換 	本体の表示窓やテレビ画面に表示されているカウンターの表示を切り換えることができます。ボタンを押すたびに、表示窓の表示が次のように切り換わります。 <table border="1" data-bbox="941 739 1452 840"> <tr> <td>カウンター表示</td> <td>テープの残量表示</td> <td>時計</td> </tr> <tr> <td>表示</td> <td>カウンター表示</td> <td>...</td> </tr> </table>	カウンター表示	テープの残量表示	時計	表示	カウンター表示	...
カウンター表示	テープの残量表示	時計						
表示	カウンター表示	...						

その他の操作

操作	ボタン	メモ
巻戻し/早送りを する(停止時)	巻戻し  早送り 	巻戻し/早送りをやめるには、停止(■)ボタンを押します。 本体で操作するときは、停止/取り出し(■/▲)ボタンを押します。
テープを取り出す (停止時)	停止/取り出し 	本体のボタンでのみできます。
カウンターをリ セットするには (停止時)	カウンター リセット 	本体のボタンでのみできます。 本体の表示窓やテレビ画面のカウンターが「0:00」に戻ります。

電源を切るには



電源が切れます。

リモコンで電源を切るときに7秒以上押し続けると、電源が切れたのち本体でのボタン操作を受けつけなくなります(チャイルドロック)。もう一度7秒以上押し続けると、チャイルドロックが解除されて電源が入ります。



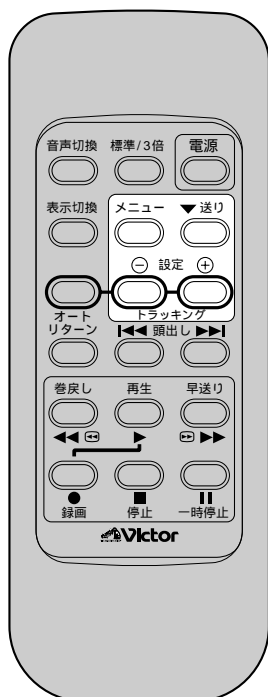
録画中に他の操作されたくないときは

録画を始める前や録画中に、背面のモードロックスイッチを「入」にします。

録画が終わるまで、他の操作を受けつけなくなります。

録画の途中で止めたいときは、モードロックスイッチを「切」にしてから、停止(■)ボタンを押してください。

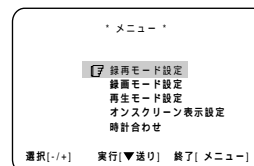
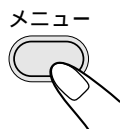
モードロックスイッチで、操作ボタンを制限できるのは録画中です。停止時にはすべての操作ボタンを受けつけます。



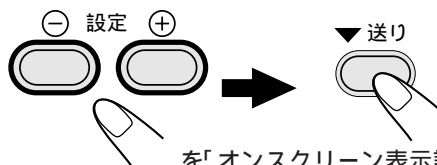
録画するときの設定を変える

ダビングするとき、本機の画面表示を消すには

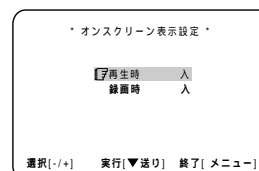
1 メニューを表示させる



2 「オンスクリーン表示設定」メニューを表示させる

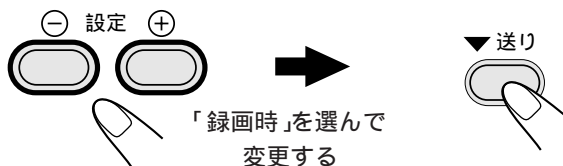


を「オンスクリーン表示設定」に合わせてから、



3 項目を選んで、変更する

ダビングするとき画面表示を消すには



「録画時」を選んで変更する

項目	設定について
録画時	入 : 操作モードなどを画面に表示する (14ページ参照) 切 : 操作モードなどを画面に表示しない お買い上げ時の設定 録画時 : 入

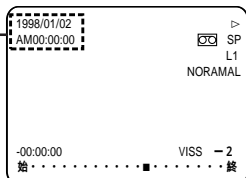


メモ

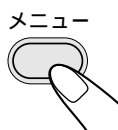
録画日時を一緒に録画することができます。

録画日時だけを録画したいときは「オンスクリーン表示設定」メニューの「再生時」を「切」にしてください。

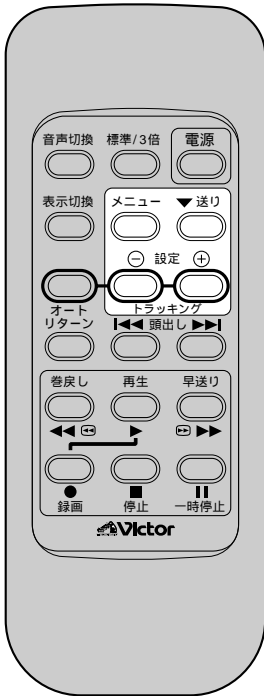
録画年月日がこの部分に録画されます



4 設定が終わったら



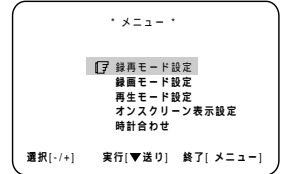
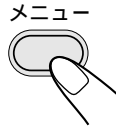
メインメニューが終了します。



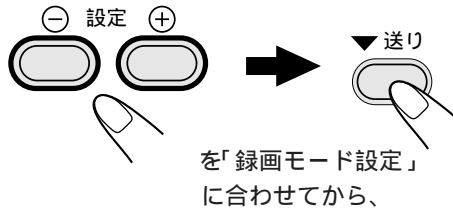
録画するときの設定を変える

VHSモードで録画したり、ハイファイ音声を録音させなくする、つめのないカセットを録画できるようにするには

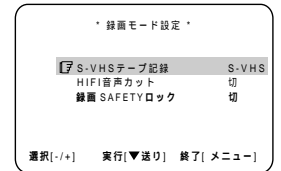
1 メニューを表示させる



2 「録画モード設定」メニューを表示させる

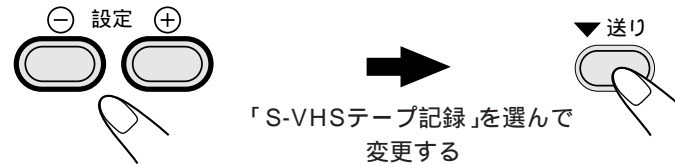


を「録画モード設定」
に合わせてから、



3 項目を選んで、変更する

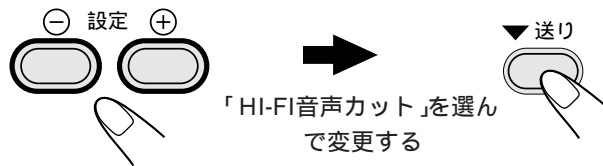
VHSモードでのみ録画するには



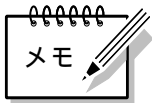
「S-VHSテープ記録」を選んで
変更する

項目	設定について
S-VHSテープ記録	<p>S-VHS : S-VHSテープにはS-VHSモードで録画できます</p> <p>VHS : S-VHSテープでもVHSモードでのみ録画できます</p> <p>お買い上げ時の設定 S-VHSテープ記録 : S-VHS</p>

ハイファイ音声を録音しないようにするには



項目	設定について
HI-FI音声カット (ハイファイ音声 カット)	切 : ハイファイ音声を録音する 入 : ハイファイ音声を録音しない お買い上げ時の設定 HI-FI音声カット : 切



録画中または録画一時停止中に「録画モード設定」の「HI-FI音声カット」、「録画SAFETYロック」を切り換えることはできません。

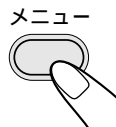
つめの折れたカセットで録画できるようにするには



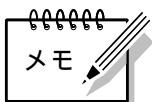
項目	設定について
録画 SAFETY ロック (誤消去ロック)	切 : つめの無いカセットで録画しない 入 : つめの無いカセットで録画する お買い上げ時の設定 録画 SAFETY ロック : 切

4

設定が終わったら

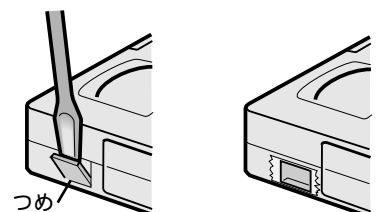


メインメニューが終了します。



「録画モード設定」メニューの「録画SAFETYロック」を「入」に設定したときは、つめを折ったテープ(つめがない)でも録画できるようになります。

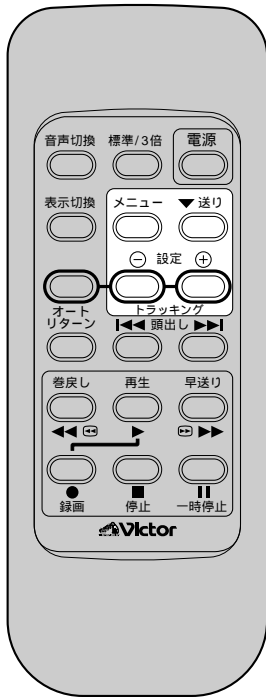
誤消去を防止するために大切な記録を誤って消したくないときは、つめ(誤消去防止用)を折って取り除いてください。セロハンテープを二重に貼って穴をふさぐとふたたび録画できます。



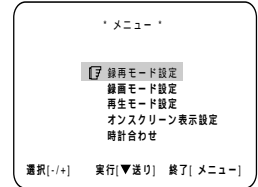
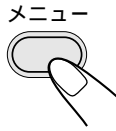
録画と再生で便利な機能

より良い画質でダビングする

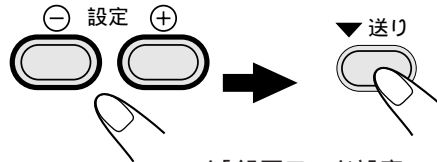
ダビングするとき、きれいにダビングできます



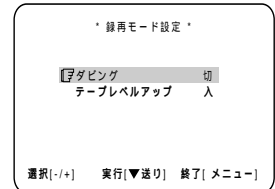
1 メニューを表示させる



2 「録再モード設定」メニューを表示させる

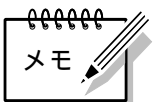
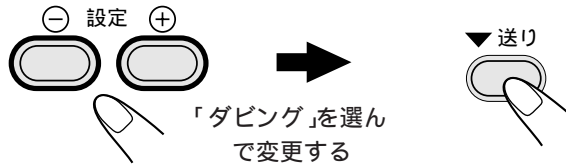


を「録再モード設定」
に合わせてから、



3 項目を選んで、変更する

ダビングするとき画面表示を消すには



ダビングをする前に、「録再モード設定」メニューの「ダビング」を「入」に設定すると、きれいにダビングできます。
ダビングが終わったら、「切」に戻してください。

項目	設定について
ダビング	入 :ダビングするとき最適な画質にします 切 :通常使うときは、切っておきます お買い上げ時の設定 ダビング :切

最適な画質で録画・再生する



項目	設定について
テープレベルアップ	入 : テープに最適な録画・再生ができます 切 : 調節しないとき お買い上げ時の設定 テープレベルアップ : 入

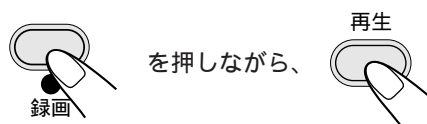
テープレベルアップについて

最適な画質で録画するには、録画したいテープであらかじめテスト録画をしてください。

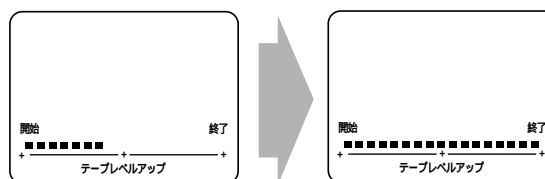
録画時の調節方法

録画したいテープをビデオデッキに入れます。
接続は「テープをダビングする」(34ページ参照)をご覧ください。
また、詳しい録画時の操作については(24ページ参照)をご覧ください。

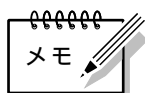
停止中に



次の画面が表示されて、自動的にテープ特性を測定します。
メニューのオンスクリーンが「切」のときには、この画面は表示されません。

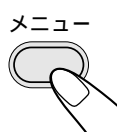


約7秒後、テープの品質レベルの測定が終了すると、録画が開始されます。



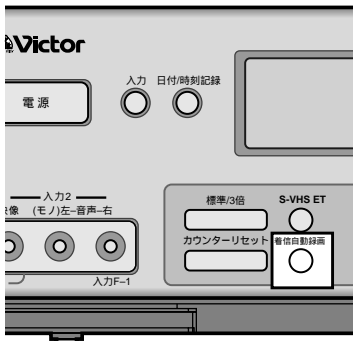
録画速度を変えると、ふたたび、テープの品質レベルを測定します。(「標準(SP)」と「3倍(EP)」モードに対して、それぞれ1度だけ測定します。テープを出し入れしたときは、そのたびにテープの品質レベルを測定し直します。)
テープの品質レベルを測定中は、一時停止(II)ボタンは働きません。

4 設定が終わったら



メインメニューが終了します。

タイマー付きの映像機器から録画する



タイマー予約の機能があるデジタルCSチューナーやCATV放送のホームターミナルなどの機器で番組を予約して、簡単に本機で録画することができます。(デジタル放送着信予約)

その前に...

お使いになるデジタルCSチューナーなどの相手の機器を本機の背面の映像/音声入力(L1)端子につないでください。(35ページ参照)

また、どちらの映像信号の入力端子(「S映像」または「映像」)を使うのかを、正しく設定してください。(24ページ参照)

録画用のテープを入れておきます。

1 デジタルCSチューナーやCATVのホームターミナルで番組を予約する

予約後、相手機器の電源が切れていることを確認してください。

番組の予約方法は、お持ちの機器に付いている取扱説明書をご覧ください。

2 本機を録画(着信自動録画)待機状態にする

着信自動録画



(約2秒間押す。)

本体の着信自動録画ランプ(ボタン自体)が緑色に点灯し、本機の電源が切れます。

これで、予約開始時刻になると、デジタルCSチューナーなどの機器の電源が入り、本機で自動的に録画が開始されます。

本機で録画が始まると、着信自動録画ランプが点滅し始めます。

録画待機を解除するときは、着信自動録画ボタンをもう1度押します。

録画を途中で止めるときは、着信自動録画ボタンを押してから、停止(■)ボタンを押します。



録画スピードを変更したいときは、手順2で着信自動録画ボタンを押す前に、標準(SP)/3倍(EP)ボタンを押してください。

デジタルCSチューナーなどの相手機器の電源が入っているときに、着信自動録画ボタンを押すと、デジタルCS予約ランプが点滅します。このときは、相手機器の電源を切ってください。

着信自動録画機能について

この機能は、本機背面の映像/音声入力端子(L-1)に信号が入力されると、その信号を検知して、本機の電源を入れ、録画を開始する機能です。

デジタルCSチューナーなどにタイマー予約機能が付いていれば、その機器の電源がタイマーで「入」になったときに、同時にその機器と本機をつないだ映像/音声コードから本機に信号が入力されます。このことを利用した機能です。

お願い

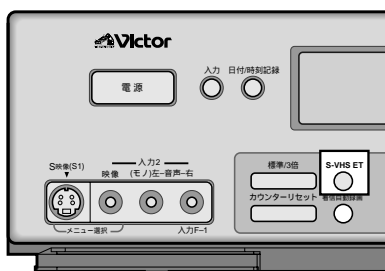
着信自動録画待機(本体の着信自動録画ランプが緑色に点灯)中は、デジタルCSチューナーなどの相手機器の電源を入れないでください。

入れると、本機で録画が始まります。

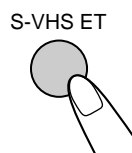
本機背面の映像/音声入力端子(L-1)にタイマーの付いていない機器をつないでいる場合に、着信自動録画機能を使うと、相手機器の電源が入ると、本機で録画が始まってしまいますので、ご注意ください。

お使いになっているデジタルCSチューナーやCATV放送のホームターミナルなどの機器によっては、実際の番組より多少長めに録画されたり、番組の始まりが欠けて録画されることがあります。

VHSテープにS-VHSの画質で録画する



VHSテープにS-VHSの画質で録画ができます。



次のようなときは、S-VHS ETボタンは働きません。

- 録画中
- S-VHSテープが入っているとき

1回押すと、現在の設定を表示します。

現在の設定を表示中にくり返し押すと、S-VHS ETモードの「入/切」が切り換わります。

VHSテープにS-VHSの画質で録画するときは、「入」を選んでください。

このときは、表示窓に**S-VHS**が表示されます。

S-VHS ET機能について

この機能は、VHSテープにS-VHSの画質で記録するための機能です。S-VHS ET機能を使って録画したテープは、本機またはS-VHS ET機能を持ったビデオデッキで再生してください。

お願い

よりよい画質で録画・再生・長期保存するためには、S-VHSテープをご利用ください。

S-VHS ET機能を使って録画したテープの再生は本機、もしくはS-VHS ET機能付きのビデオデッキでお楽しみください。

添付の「Super VHS ET」シールをテープの背ラベルに貼るなどして、通常モード(VHSモード)で録画したテープと区別して保存することをお勧めします。

S-VHS ET機能を使って録画したテープは、S-VHSのビデオデッキやS-VHS簡易再生機能(SQPB)付きのビデオデッキでも再生することができます。ただし、機種によっては再生できないこともありますので、ご注意ください。

再生時テープの品質によっては、ノイズが出る場合があります。

静止画再生やコマ送り・スロー再生を行うと、画面にノイズがでる場合があります。

静止画再生やコマ送り・スロー再生を頻繁に行うと、画質が劣化することがあります。これらの操作の多用は避けてください。

お使いになるテープによっては、十分な画質が得られないことがあります。必ず事前に試し撮りをして、十分な画質で録画されていることを確かめてください。

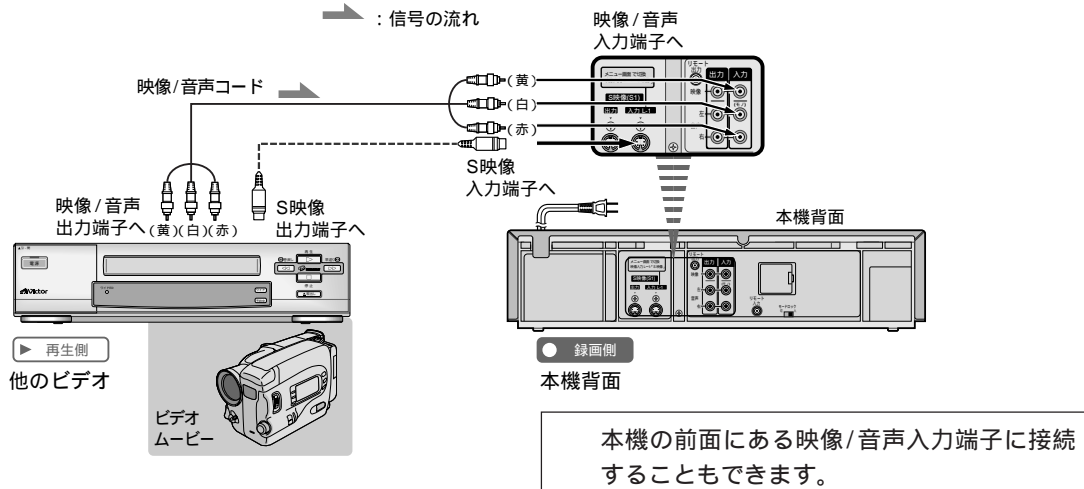
S-VHS ET機能を使って録画するときは、次のことをお勧めします。

- HG(ハイグレード)タイプのVHSテープをお使いください。
- メニューの「テープレベルアップ」を「入」(30ページ参照)にしておいてください。
- 映像がちらついたり、乱れたりするときは、クリーニングカセットをお使いください。(6ページ参照)

テープをダビングする

他機で再生、本機で録画する

図のように、相手の機器を接続してください。



他機側(再生)

その前に...

再生するテープを入れておきます。

本機側(録画)

その前に...

「録再モード設定」メニューの「ダビング」を「入」にしてください。(29ページ参照)

メニューで録画年月日やハイファイ音声を記録するかどうかを、お好みに合わせて設定してください。(28ページ参照)

録画用のテープを入れておきます。
最適な画質で録画するためテープレベルアップ機能をお使いになることをお勧めします。(30ページ参照)

3 ダビングしたい部分の少し前から再生を始める



ダビングすると、画質はもとのテープより劣ります。標準モード(SP)で録画することをお勧めします。

録画一時停止が5分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。

あなたがビデオテープレコーダーで録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ダビングが終わったら「録再モード設定」メニューの「ダビング」を「切」に戻してください。(29ページ参照)

1 外部入力を選ぶ



本体のボタン

背面の映像/音声入力端子に、相手の機器をつないだときは「L1」を、前面の入力2の映像/音声入力端子に、相手の機器をつないだときは「L2」を選びます。S映像端子につないだときは「L1-S」または「L2-S」を選びます。

2 録画スピードを選ぶ

押すたびに、録画スピードが「標準(SP)」と「3倍(EP)」に切り換わります。

標準/3倍



「標準」: 画質を重視するとき表示窓に「SP」表示が点灯します。
「3倍」: 3倍長く録画するとき表示窓の「EP」表示が点灯します。

4 録画一時停止状態にする



録画

を押しながら、

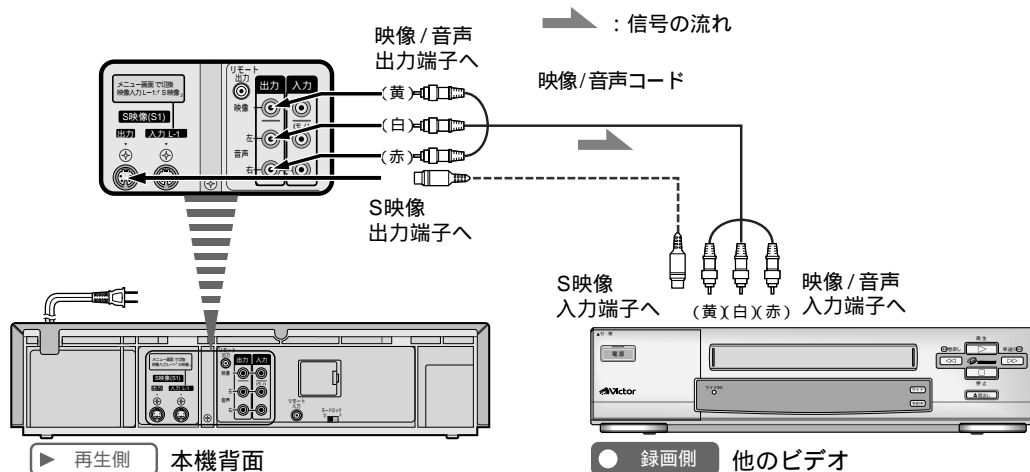


一時停止

5 録画を始める

本機で再生、他機で録画する

図のように、相手の機器を接続してください。



本機側(再生)

その前に...

再生するテープを入れておきます。

「オンスクリーン表示設定」メニューの「再生時」を「切」にしておきます。

「入」になっていると、本機の画面表示が録画されてしまいます。(21ページ参照)

「録再モード」メニューの「ダビング」を「入」にしてください。(29ページ参照)

3 ダビングしたい部分の少し前から再生を始める



ダビングが終わったら「録再モード設定」メニューの「ダビング」を「切」に戻してください。(29ページ参照)

他機側(録画)

その前に...

録画用のテープを入れておきます。

実際の操作のしかたは、他機についている取扱説明書をご覧ください。

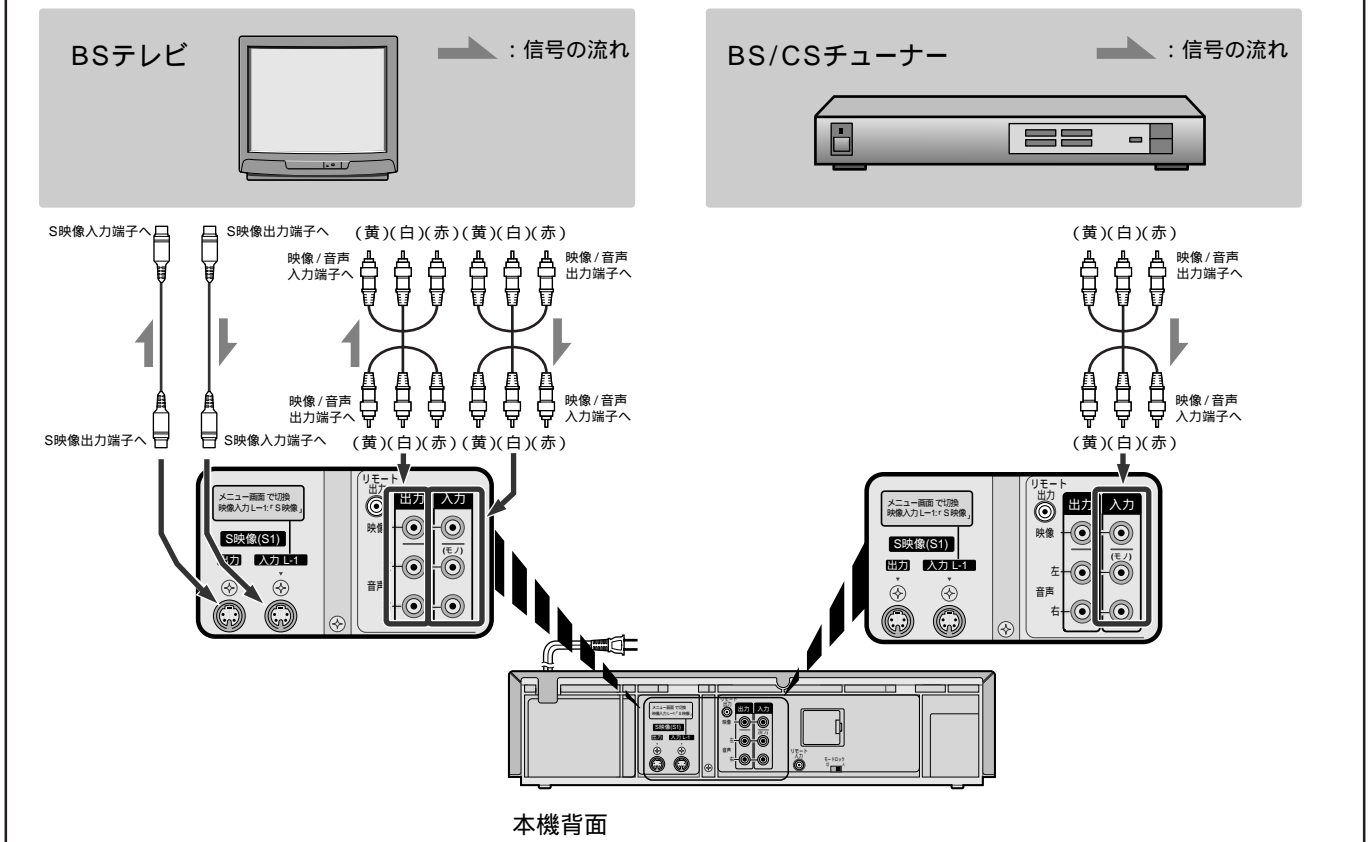
1 本機を接続した外部入力を選ぶ

2 録画一時停止状態にする

4 録画を始める

BSやCS機器を接続して録画する

図のように、相手の機器を接続してください。



その前に...

相手の機器を、どちらの映像入力端子(「S映像」または「映像」)につないだかを、メニューで正しく設定してください。(24ページ参照) 両方の端子をつなぐ必要はありません。

録画用のテープを入れておきます。

お使いになるBSテレビやCSチューナーなどの取扱説明書もあわせてご覧ください。

録画するには

1 BSテレビやCSチューナーで、録画したいチャンネルを選ぶ

2 本機で、外部入力を選ぶ



前面の映像/音声入力端子に、相手の機器をつないだときは「L2」、背面の映像/音声入力端子に、相手の機器をつないだときは、「L1」を選びます。

3 本機で、録画を始める



を押しながら、



接続したBSやCSチューナーで、タイマー録画予約をしたいときは「録画」に便利な機能(31ページ参照)をご覧ください。

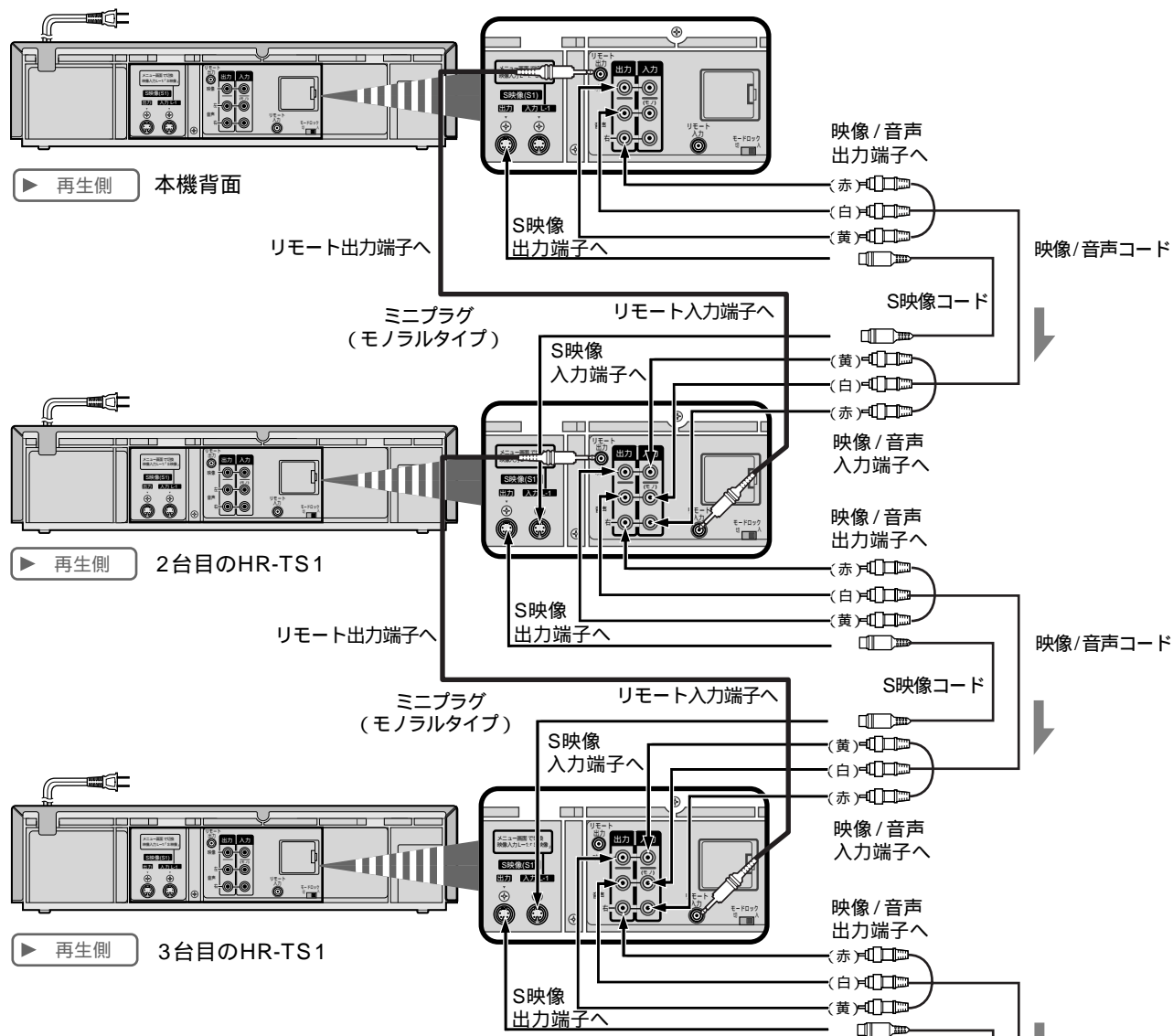
複数台のHR-TS1を本機で操作する

複数台のHR-TS1で連続再生する

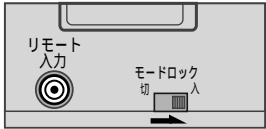
店頭などでのデモンストレーションなどに使うと便利な機能です。

複数台のHR-TS1を図のように接続してください。

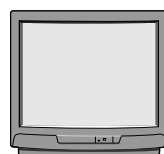
例:本機を含め3台の接続例です。



接続した複数台のHR-TS1を、くり返し再生したいときは、最後のHR-TS1のリモートアウト端子と、1台目のリモートイン端子を接続してください。



再生する前に、すべてのHR-TS1の背面のモードロックスイッチを「入」にすると、再生が途中で誤って中断される心配がありません。



AVテレビ

本機の前面にある映像/音声入力端子に接続することもできます。

本機側(再生)

その前に...

テレビの電源を入れて、外部入力を選びます。(本機からの映像をテレビ画面に映します。)

すべてのHR-TS1に再生するテープを入れておきます。
本機の背面にあるリモート出力端子と、他のHR-TS1のリモート入力端子を接続しておきます。

1 再生をする



本機のテープの再生が終わると

本機のテープの再生が終わると、2台目のHR-TS1で再生が開始されます。

同じように、2台目の再生が終わると、3台目で再生が開始されます。このようにリモート出力端子とリモート入力端子で接続された複数台のHR-TS1は再生を連続して続けることができます。

再生が終わったテープは

再生が終わったテープは自動的に巻戻されて停止します。

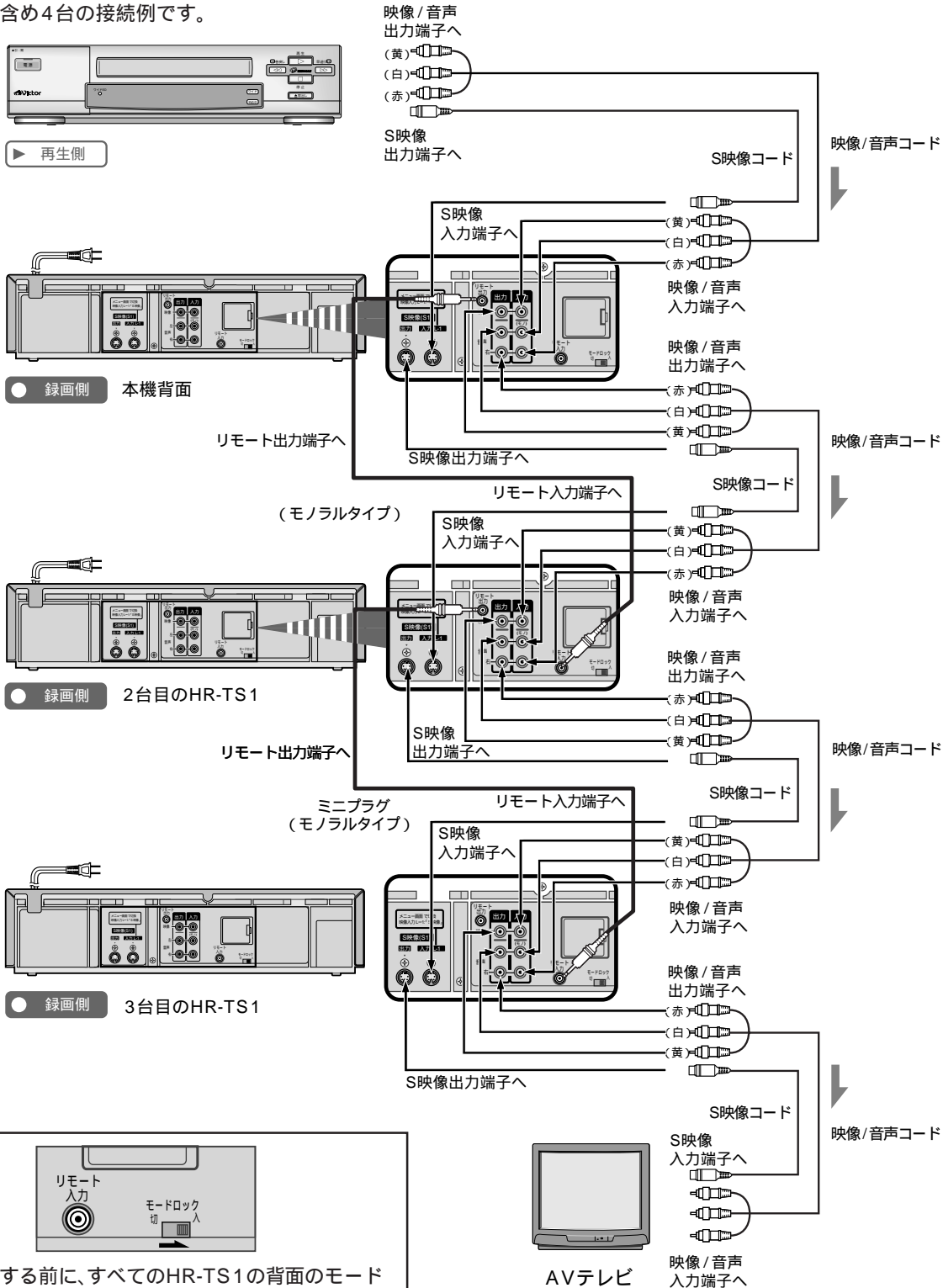
最後のHR-TS1の再生が終わったら

接続されている最後のHR-TS1の再生が終わったら、最後のHR-TS1はテープを巻戻して連続再生を終了します。

複数台のHR-TS1を本機で操作する(つづき)

複数台のHR-TS1で連続録画する

複数台のHR-TS1を図のように接続してください。
例:本機を含め4台の接続例です。



本機の前面にある映像/音声入力端子に接続することもできます。

他機側(再生)

その前に...

再生するテープを入れておきます。

4 ダビングしたい部分の少し前から再生を始める



ダビングすると、画質はもとのテープより劣ります。標準モード(SP)で録画することをお勧めします。

録画一時停止が5分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。

あなたがビデオテープレコーダーで録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

本機側(録画)

その前に...

メニューで録画年月日やハイファイ音声を記録するかどうかを、お好みに合わせて設定してください。(28ページ参照) 録画用のテープを入れておきます。

本機の背面にあるリモート出力端子と、他のHR-TS1のリモート入力端子をミニプラグで接続しておきます。

1 外部入力を選ぶ



本体のボタン

前面の映像/音声入力端子に、相手の機器をつないだときは「L2」、背面の映像/音声入力端子に、相手の機器をつないだときは、「L1」を選びます。

2 録画スピードを選ぶ

押すたびに、録画スピードが「標準(SP)」と「3倍(EP)」に切り換わります。

標準/3倍



「標準」: 画質を重視するとき

表示窓に「SP」表示が点灯します。

「3倍」: 3倍長く録画するとき

表示窓の「EP」表示が点灯します。

3 録画一時停止状態にする



録画

を押しながら、一時停止



5 録画を始める

再生



本機のテープ残量がなくなってくると

本機のテープの残量が2分程度になると、2台目のHR-TS1で録画が開始されます。

同じように、2台目のテープが終わりそうになると3台目が録画を開始します。このようにリモート出力端子とリモート入力端子で接続された複数台のHR-TS1は録画を連続して続けることができます。

録画が終わったテープは

録画が終わったテープは自動的に巻き戻されて停止します。

故障かな？ と思ったら

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。下記の項目を確認しても直らないときは、電源を切って電源プラグをコンセントから抜いて、再度差し込み、動作を確認してください。

一般

症状	原因と対処(参照ページ)
電源が入らない	電源コードがコンセントからはずれていませんか？ 本体の表示窓に「-」が点灯していませんか？ このときは、チャイルドロックが設定されていますので、解除してください。(☞P.19、25)
カセットが入らない	正しい向きで入れてください。
再生をやめても、ビデオ内部から動作音が聞こえる	再び再生したいときに出画時間を早くするため、ビデオ内部のドラムが約5分間は回転しています。故障ではありません。
カウンター表示が点滅する	早送り、巻戻し中にテープの未録画部分になると、カウンター表示が点滅します。
リモコンが働かない	電池が消耗していませんか？
ダビングできない	正しい外部入力(「L1」または「L2」)を選んでいませんか？
ダビング時、本機で再生すると画面表示の文字が録画される	「オンスクリーン表示設定」メニューの「再生時」を「切」にしてください。2台目にダビングするときは録画時も「切」にしてください。(☞P.21,26)
再生や録画を止められない	モードロックスイッチが「入」になっていませんか？

再生 (音声)

症状	原因と対処(参照ページ)
ハイファイステレオの音声がでない	モノラルのビデオデッキやビデオムービーで録画したテープを再生してもハイファイステレオ音声は出ません。
日本語と外国語が同時に聞こえる	音声切換ボタンで聞きたい音声を選んでください。

再生 (映像)

症状	原因と対処(参照ページ)
テレビに映像が出ない	テレビはビデオ入力になっていますか？ テレビの入力切換を「ビデオ」にします。
映像が乱れる、ちらつく	オートトラッキング中に映像が乱れたり、ちらつきが出る場合は、トラッキング調整を行います。(☞P.19) 再生中は、トラッキングを手動で調節してください。(☞P.19) 録音状態の悪いテープの場合、十分に調節できないことがあります。 長い間使用していると、ビデオヘッドが汚れて再生画が汚くなる場合があります。 別売のクリーニングテープTCL-3Fで掃除してください。
早送り/巻戻し再生中、静止画再生中に映像が乱れる	再生の速さを変えると、映像が乱れるときがあります。故障ではありません。(☞P.17)
静止画が上下に揺れる	リモコンの設定⊕、⊖ボタンを、揺れが止まるまで押してみてください。(☞P.19) 録音状態の悪いテープの場合、十分に調節できないことがあります。

録画 (音声)

症状	原因と対処(参照ページ)
ハイファイ音声が録音できない	「録画モード設定」メニューの「HIFI 音声 カット」を「切」にしてください。(☞P.28)

録画 (映像)

症状	原因と対処(参照ページ)
録画できない	カセットのつめが付いていますか？ ついていなければ「録画モード設定」メニューの「録画 SAFETY ロック」を「入」にしてください。
本体表示窓に「-:-:-」を表示している	リチウム電池を交換してもう一度、日付と時刻を設定してください。(☞P.15)

索引

アルファベット・数字

RECレジューム機能	24
S-VHS ET	32
VISS	20, 24

ア行

安全上の注意	2
インデックスマーク	20, 24
オートトラッキング	19
オートリピート再生	20
巻戻しを始める点	23
音声を切り換えるには	18

カ行

カウンターリセット	18
各部の名称	
テレビ画面表示	14
本体前面	11
本体背面	12
本体表示窓	14
リモコン	13
故障かな?	40
誤消去防止	28
コマ送りするには	17

サ行

再生する	16
再生するとき	
オンスクリーンを消す	21
音声を選ぶ	18
コマ送りをする	17
速度を変えて再生する	17
スロー再生をする	17
テープの残量	18
トラッキングを調節する	19
時刻を設定する	15
使用上の注意	6
接続	
ダビング	28
テレビ	16
何台かで連続再生	36
何台かで連続録画	38

タ行

ダビングする	33
何台かで連続録画	38
ダビングするとき	
オンスクリーンを消す	26、29
電池の入れかた	10
時計合わせ	15

ナ行

ノーマル音声	18
--------------	----

ハ行

ハイファイ音声	
ハイファイ音声を録音しない	28
日付を設定する	15
付属品	10

マ行

ミックス音声	18
モードロック スイッチ	36、38

ラ行

リチウム電池	12
録画する	24
録画するとき	
S-VHSとVHSモード切換	27
オンスクリーンを消す	26
ツメのないカセットに録画	28
テープの残量	25
ハイファイ音声の録音	28
録画時に日時を記録	26

主な仕様

電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	17W(電源「切」時2.5W)
外形寸法	400(幅)×94(高さ)×340(奥行き)mm
質量	3.9kg
許容動作温度	+5°C～+40°C
許容相対湿度	35%～80%
許容保存温度	-20°C～+60°C

ビデオ(映像)

録画・再生方式	VHS方式 回転2ヘッドヘリカルスキャン 輝度信号 FM方式 色信号 低域変換直接記録方式
映像信号	NTSC日米標準信号

ハイファイオーディオ(音声)

録音方式	VHSステレオハイファイ
周波数特性	20Hz～20kHz
ダイナミックレンジ	90dB以上
ワウ・フラッター	0.005%以下
チャンネルセパレーション	60dB以上

ノーマルオーディオ(音声)

録音方式	リニアトラック
音声トラック	1チャンネル(モノラル)

接続端子

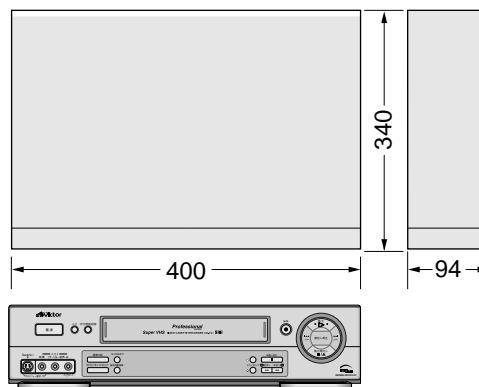
S映像	入力	Y: 0.8～1.2Vp-p 75Ω C: 0.2～0.4Vp-p 75Ω
	出力	Y: 1.0Vp-p 75Ω C: 0.29Vp-p 75Ω
映像	入力	0.5～2.0Vp-p 75Ω(ピンジャック)
	出力	1.0Vp-p 75Ω(ピンジャック)
音声	入力	-8dBs 50kΩ(ピンジャック) モノ(左対応)
	出力	-8dBs 1kΩ(ピンジャック)
リモートコントロール入力		3.5 ミニジャック
リモートコントロール出力		3.5 ミニジャック

テープ走行

早送り/巻戻し時間 約3分(T-120テープ使用時)
テープによっては早送り/巻戻しに時間がかかる場合があります。

付属品

10ページをご覧ください



仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

このビデオは日本国内のみ使用できます。

This video cassette recorder is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

保証とアフターサービス (よくお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。ただし、ブラウン管については2年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、ビデオカセットレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。この製品の製造時期は、本体の背面に表示されています。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」(38~39ページ参照)にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

34~35ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

万一本機およびビデオカセット等の不具合により、正常に録画・録音ができなかった場合の補償については、ご容赦ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	ビデオカセットレコーダー
型名	HR-TS1
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	() -

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器設備費、一般管理費が含まれています。
+	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
+	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検

長年ご使用のビデオカセットレコーダーの点検をぜひ!

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような症状はありませんか

再生しても映像や音が出ない。
電源プラグ、コードが異常に熱い。
異常な臭いや音がする。
水や異物が入った。
その他の異常や故障がある。



ご使用中を止

故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

美しい画面をご覧いただくために

ビデオカセットレコーダーは非常に高い精度を必要とする機械です。長い間ご使用になるうち、機械部分が汚れたり、摩耗したりすると性能が維持できなくなります。美しい画面でお楽しみいただくために、およそ1,000時間をめどに点検整備されることをおすすめいたします。

サービス窓口案内



ビクターサービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

略号について S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

都府県名	拠点名	TEL		所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	苫小牧S.S.	(0144)34-6682	053-0032	苫小牧市緑町2-7-11
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.C.	(0154)24-0797	085-0036	釧路市若竹町6-13
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館S.S.	(0138)46-5324	041-0806	函館市美原3-16-25
東北				
青森	青森S.C.	(0177)23-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0804	八戸市青葉2-21-2
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田12地割字新田堰94番地1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(0188)24-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(0249)52-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)28-4991	970-8034	いわき市平上荒川字桜町19-4
	会津若松S.S.	(0242)32-0247	965-0022	会津若松市滝沢町1-5
	福島S.S.	(0245)53-9437	960-0103	福島市内内字南原26-1
関信越				
新潟	新潟S.C.	(025)241-0527	950-0084	新潟市明石1-2-19
	佐渡S.S.	(0259)57-3127	952-1314	佐渡郡佐和田町河原田本町93
	長岡S.C.	(0258)24-1462	940-0012	長岡市上下条2-1366-1
	上越S.S.	(0255)44-9987	942-0081	上越市五智1-11
長野	松本S.C.	(0263)25-9353	390-0837	松本市鎌田2-3-50
	長野S.S.	(026)221-9946	380-0913	長野市川合新田962-1
	上田S.S.	(0268)23-3589	386-0005	上田市吉里79-1
群馬	前橋S.C.	(027)255-5920	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
	宇都宮S.C.	(028)635-2656	320-0864	宇都宮市住吉町17-9
茨城	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-147ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	水戸S.C.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	土浦S.C.	(0298)21-8756	300-0051	土浦市真鍋6-1-25
	甲府S.S.	(0552)37-3136	400-0864	甲府市湯田2-11-5
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-147ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	木更津S.S.	(0438)36-4855	292-0802	木更津市真舟5-4-9
	柏S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27

都府県名	拠点名	TEL		所在地
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-147ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-147ビクター本郷ビル4F
	秋葉原S.S.	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	東京業務機器センター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-147ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	大宮市東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(0485)53-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ山山B
	川越S.S.	(0492)42-4496	350-1106	川越市小室491-1
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-147ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	横須賀S.S.	(0468)34-9261	239-0831	横須賀市久里浜6-4-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2(第2石原ビル)
	平塚S.C.	(0463)23-2687	254-0033	平塚市老松町4-9(木村ビル)
	小田原S.S.	(0465)24-0681	250-0004	小田原市浜町4-1-12
相模原S.C.	(0427)76-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4	
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼津S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
東海・北陸				
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.S.	(0564)26-1005	444-2133	岡崎市井ノ口町字河原西31
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
三重	津S.S.	(0592)29-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
	富山S.C.	(0764)25-2397	930-0083	富山市総曲輪4-3-5
石川	金沢S.C.	(0762)31-5242	920-0867	金沢市長土堀2-1-27
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

0698

都府県名	拠点名	T E L	☎	所在地
近 畿				
滋 賀	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	滋 賀S.S.	(0775)82-5812	524-0033	守山市浮気町268
京 都 南 部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大 阪S.C.	(06)304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
京 都 南 部	京 都S.C.	(075)313-3189	600-8861	京都市下京区七条御所ノ内北町91
京 都 北 部	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	福 知 山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈 良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大 阪S.C.	(06)304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈 良S.S.	(07442)4-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大 阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大 阪S.C.	(06)304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大 阪S.C.	(06)304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	大 阪 南S.C.	(06)768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺 S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百古鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
和 歌 山	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	業 務 機 器 C	(06)304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【サービス関連全て】のご相談窓口			
和 歌 山	和 歌 山S.S.	(0734)72-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田 辺S.S.	(0739)22-9914	646-0023	田辺市文里1-19-18
兵 庫 東 部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大 阪S.C.	(06)304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
兵 庫 東 部	神 戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
	明 石S.S.	(078)924-1104	673-0018	明石市西明石北町3-12-9 小西ビルF
兵 庫 西 部	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	姫 路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	拠点名	T E L	☎	所在地
中 国				
岡 山	岡 山S.C.	(086)243-1566	700-0927	岡山市西古松西町8-23
	広 島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
広 島	福 山S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
	呉 S.S.	(0823)74-9364	737-0112	呉市広古新開2-17-32-102
山 口	山 口S.C.	(0839)73-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳 山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下 関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
四 国				
香 川	高 松S.C.	(0878)66-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳 島	徳 島S.C.	(0886)22-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高 知	高 知S.S.	(0888)82-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
	松 山S.C.	(0899)23-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
愛 媛	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
	新居浜S.S.	(0897)67-1030	792-0881	新居浜市松神子2-2-25
九 州・沖 縄				
福 岡	福 岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久 留 米S.C.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北 九 州S.C.	(093)921-3981	802-0065	北九州市小倉北区三萩野2-9-3
	筑 豊S.S.	(0948)29-1146	820-0068	飯塚市片島2-22-27
佐 賀	佐 賀S.S.	(0952)26-8785	840-0023	佐賀市本庄町大字袋265-1
長 崎	長 崎S.C.	(0958)62-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大 分	大 分S.S.	(0975)43-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊 本	熊 本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
宮 崎	宮 崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延 岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿 児 島	鹿 児 島S.C.	(099)267-3572	891-0114	鹿児島市小松原2-23-28
沖 縄	沖 縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
山 陰				
島 根	山陰ビクター販売(株) サービスセンター (松江・米子担当)	(0852)31-8900	690-0823	松江市西川津町1484-3
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
鳥 取	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0845	鳥取市富安2-45

海外でのビデオムービーの修理ご相談窓口

北米・ハワイ

カナダ JVC CANADA INC.

・ト ロ ント [416-293-1311]
21 Finchdene Square, Scarborough, Ontario M1X 1A7

アメリカ JVC SERVICE & ENGINEERING COMPANY OF AMERICA

・ア ト ラ ン タ [770-339-2522]
1500 Lakes Parkway Lawrenceville, GA 30243-5857

・サ ン フ ラ ン シ ス コ [415-871-2666]
890 Dubuque Avenue, S. San Francisco, CA 94080-1804

・シ カ ゴ [630-851-7855]
705 Enterprise Street Aurora, IL 60504-8149

・ニ ュ ー ジャ ー ジ ー [973-808-9279]
107 Little Falls Road, Fairfield, NJ 07004-2105

・ヒ ュ ー ス ト ン [713-935-9331]
10700 Hammerly, Suite 110, Houston, TX 77043

・ポ ス ト ン [508-881-5923]
230 Eliot Street, Ashland, MA 01721-2377

・ホ ノ ル ル [808-833-5828]
2969 Mapunapuna Place, Honolulu, HI 96819-2040

・マ イ ア ミ [954-472-1960]
8192 State Road 84, Davie FL 33324

・ロ サ ン ジ ェ ル ス [714-229-8011]
5665 Corporate Avenue Cypress, CA 90630-0024

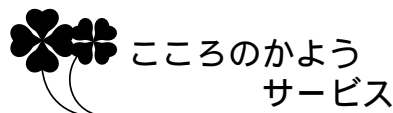
・ハ リ ウ ッ ド [310-659-5262]
8764 Beverly Boulevard West Hollywood, CA 90048

(注)・ヨーロッパその他の地域ではテレビジョン方式の違い等の問題がありますので、おでかけの前に下記お客様ご相談センターにご相談ください。
・海外では日本の保証書は適用されませんので、修理は全て有料となります。

ビクター製品についてのご相談窓口

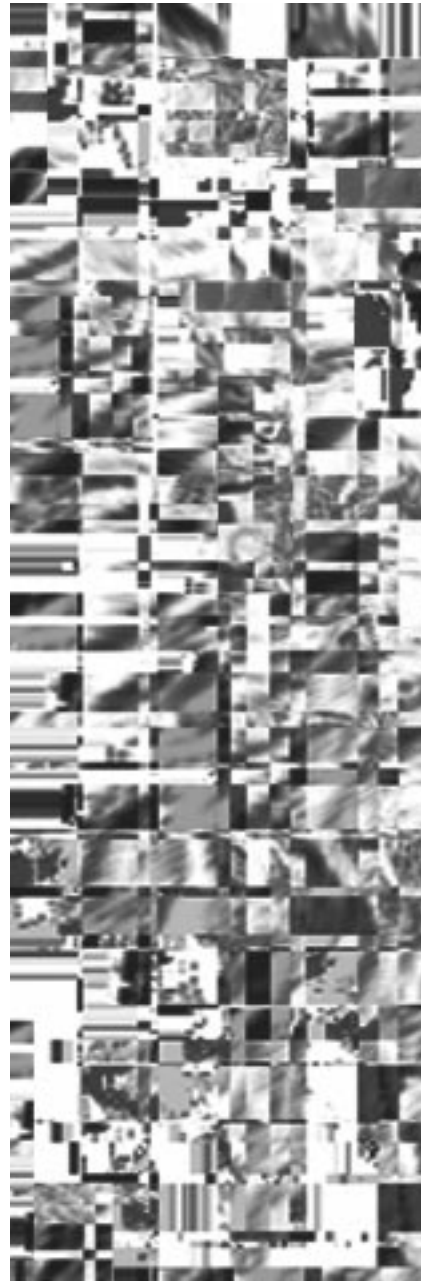
お買物相談、お取扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記にご相談ください。

お客様ご相談センター	(03)5684-9311 (06)765-4161	113-0033 543-0028	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル
------------	-------------------------------	----------------------	---



サービスネットワークBS 9001

その他



省エネで
守る環境
豊かな暮らし




故障かな？と思ったら
修理に出す前に40ページをご確認ください。

修理についてのご相談は
「お買い上げ販売店」へご相談ください。
ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店に修理をご
依頼になれない場合は、44～45ページの「ビクター
サービス窓口」にご相談ください。

お買物相談
お取り扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は「お
客様ご相談センター」にご相談ください。

お客様ご相談センター

東 京

 (03)5684-9311

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

大 阪

 (06)765-4161

〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル



日本ビクター株式会社

ビデオ事業部

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 電話(045)450-2550